# 第 17 回日本地震工学シンポジウム　プログラム（2026 年 11 月 19 日版）
# Program of the 17th Japan Earthquake Engineering Symposium (as of November 19, 2026)

- 一般セッションの発表は 1 題 12 分（発表 8 分・質疑 4 分）です.
  Each presentation in the general sessions is 12 minutes (8 minutes for presentation and 4 minutes for Q&A).
- オーガナイズドセッションの一般発表は 1 題 12 分（発表 8 分・質疑 4 分）です.
  Each general presentation in the organized sessions is 12 minutes (8 minutes for presentation and 4 minutes for Q&A).
- オーガナイズドセッションの招待講演の発表時間はオーガナイザーの指示にしたがってください.
  For invited talks in the organized sessions, please follow the organizers' instructions on presentation time.

★：招待講演 / Invited talk

## [OS-16] 近年の被害地震の強震動を踏まえた地盤震動研究：成層地盤から不整形地盤まで (1)
## [OS-16] Ground motion research based on lessons from recent destructive earthquakes: From horizontally layered structure to irregular ground structure (1)

2026/11/26 09:30-11:10 第 1 会場 / Room 1

座長：高井 伸雄（北海道大学）
Chair: Nobuo Takai (Hokkaido University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000136 | 川瀬 博 | （一財）日本建築総合試験所 | 南海トラフ巨大海溝型地震の複数シナリオを想定した関西全域の設計用入力地震動（サイト波）の作成　（その１）統計的グリーン関数の水平動と上下動のサイト特性の設定 |
| C000219 | 仲野 健一 | 安藤ハザマ | 南海トラフ巨大海溝型地震の複数シナリオを想定した関西全域の設計用入力地震動（サイト波）の作成 （その２）経験的サイト増幅特性を考慮した統計的グリーン関数法に基づく短周期地震動 |
| C000237 | ペトゥヒン アナトリ | 京都大学防災研究所 | 南海トラフ巨大海溝型地震の複数シナリオを想定した関西全域の設計用入力地震動（サイト波）の作成　（その３）三次元有限差分法による長周期地震動 |
| C000472 | 岩田 知孝 | 京都大学名誉教授 | 2016 年熊本地震 (MJ 7.3) の観測記録に基づく強震動評価手法の検証 |
| C000400 | 落合 努 | 常葉大学 | 数値解析による表層地盤の非線形特性評価法の検討 |
| C000285 | 三宅 弘恵 | 東京大学 | 三浦半島における地下構造モデル検討と非線形地盤応答試算 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000476 | 東畑 郁生 | 関東学院大学 | 断層スーパーシアの生成と発生震動に関するモデル計算 |

## [OS-01] 災害受容の地震防災から脱却しよう

## [OS-01] Let's move away from disaster acceptance in earthquake disaster prevention

2026/11/26 09:30-11:10 第 2 会場 / Room 2

座長：田村 和夫（神奈川大学），永野 正行（東京理科大学）

Chairs: Kazuo Tamura (Kanagawa University), Masayuki Nagano (Tokyo University of Science)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000606 | 前田 宜浩 | 防災科学技術研究所 | 超軟弱地盤地域における連鎖複合災害リスクと長期的対策 |
| C000174 | 永野 正行 | 東京理科大学 | 生活継続の視点から考える超高層集合住宅の揺れおよび室内被害と立地の関係 |
| C000027 | 山本 雅史 | 竹中工務店 | 長周期長時間地震動を受ける免制振構造物における免制振デバイスの温度上昇による影響 |
| C000101 | 田村 和夫 | 神奈川大学 | ★地震時の免震構造建築物の損傷制御性能に関する総合的考察 |
| C000288 | 藤倉 修一 | 宇都宮大学 | ★地域社会のレジリエンス向上を目指した対地震橋梁技術と人材育成の取組み |
| C000276 | 貞許 美和 | 株式会社　日建設計 | 巨大地震等対応防災拠点施設設計仕様ガイドライン：建築・インフラ一体型仕様による機能継続設計に向けて |
| C000116 | 篠崎 洋三 | 大成建設 | ★社会から求められる耐震性能を目指して |

## b-5 建築構造物(1)

## b-5 Building structures (1)

2026/11/26 09:30-11:10 第 3 会場 / Room 3

座長：中村 孝也（新潟大学）

Chair: Takaya Nakamura (Niigata University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000031 | ヤオ トレボージキン | 東京科学大学 | 建物の「Seismic Ratcheting」応答を低減するための強度不整形形状係数の提案に関する基礎的検討 |
| C000035 | 保井 美敏 | 戸田建設 | 地震観測とシミュレーション解析に基づいた細長い平面形状を有する建物の地震時挙動に関する検討 |
| C000036 | 米澤 健次 | 株式会社　大林組 | 既存 RC 梁の新設貫通孔の補強工法に関する解析的研究 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000054 | 王 耀海 | 東京科学大学 | 曲げ・せん断を受ける集成材柱継手接合部の割裂破壊性状とビス補強効果 |
| C000268 | 梶井 雄大 | 東京理科大学 | 鉄筋コンクリート造部材に対して高解像度画像を用いたひび割れ幅評価 |
| C000178 | 中田 幹久 | 株式会社大林組 | ドロップハンチを有するヒンジリロケーション梁工法に関する実験的・解析的検討 |
| C000551 | 近藤 駿 | 秋田県立大学 | 鉄筋コンクリート造柱のマルチスプリングモデルにおけるばね特性の違いが力学特性に与える影響 |

## b-7 免震・制振・構造ヘルスモニタリング(1)

## b-7 Seismic Isolation, Vibration Control, and Structural Health Monitoring (1)

2026/11/26 09:30-11:10 第 4 会場 / Room 4

座長：金澤 健司（電力中央研究所）

Chair: Kenji Kanazawa (Central Research Institute of Electric Power Industry)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000015 | 中野 尊治 | 東京科学大学 | 導体の境界条件に起因する減衰係数の変位依存性を考慮した渦電流ダンパーのモデル化 |
| C000048 | 明橋 弘樹 | 竹中工務店 | 増幅機構を備えた TMD の摩擦を考慮した設計法 |
| C000068 | 石原 弘登 | 株式会社大林組 | 吊り構造で免震化した連続橋の吊り材長が橋梁の地震時挙動に与える影響の検討 |
| C000071 | 五十嵐 優奈 | 明治大学 | 高減衰ゴムダンパーの力学モデルに関する研究～一質点系の弾塑性応答解析の精度に関する検証～ |
| C000072 | 梶川 久光 | 明治大学 | 高減衰ゴムダンパーを用いた木質制震耐力壁に関する解析的研究 |
| C000094 | 渡井 一樹 | 竹中工務店 | オイルダンパーを有する建物の微小振幅下における減衰定数に関する考察 |
| C000105 | 真島 僚 | 安藤ハザマ | 滑車を用いた多層制振システムの振動台実験と再現解析 |

## [OS-14] デジタル技術を駆使した SIP 防災課題の研究成果と将来展望

## [OS-14] Achievements and Future Prospects of SIP Disaster Prevention Initiatives Leveraging Digital Technologies

2026/11/26 09:30-11:10 第 5 会場 / Room 5

座長：鈴木 康嗣（防災科学技術研究所）

Chair: Yasushi Suzuki (National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000369 | 楠 浩一 | 東京大学 | ★SIP 第 3 期における課題「スマート防災ネットワーク構築」の取組み |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000451 | 君嶋 里美 | 防災科学技術研究所 | ★マルチセンシングデータに基づく被害状況常時推定システム（SIP4D-Sens） |
| C000385 | 越村 俊一 | 東北大学 | ★津波災害デジタルツインの構築 |
| C000387 | 伊勢 正 | 防災科学技術研究所 | ★災害実動機関における組織横断の情報共有・活用- 総合検証訓練「SIP 防災 OKINAWA2025」の実施報告 - |
| C000661 | 栗林 大輔 | 国立研究開発法人土木研究所 | ★リスク情報と流域内貯留機能の最大活用による水害時の防災行動促進と被害軽減 |
| C000597 | 山野井 一輝 | 京都大学 | ★デジタルツイン技術を用いた地震・豪雨複合災害の被害予測～能登半島地震後の土砂流下シミュレーションへの適用～ |
| C000262 | 重野 寛 | 慶應義塾大学 | ★防災分野におけるデータ連携がもたらす研究開発成果の相乗効果 |

## a-5 津波・歴史地震 & a-6 その他

## a-5 Tsunamis and historical earthquakes & a-6 Others

2026/11/26 09:30-11:10 第 6 会場 / Room 6

座長：石丸 真（電力中央研究所）

Chair: Makoto Ishimaru (Central Research Institute of Electric Power Industry)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000223 | 鈴木 文乃 | 株式会社小堀鐸二研究所 | 気象庁 1 倍強震計の地震記象数値化データベースに基づく強震観測網発達以前の長周期地震動 |
| C000407 | 大平 健伸 | 東北大学 | 三次元斜面安定解析を用いた 1771 年明和地震津波の海底地すべりを考慮した再検討 |
| C000125 | 松原 稔 | 大成建設株式会社 | 混合ガウス分布とガウス過程を組み合わせた ETAS モデルのベイズ推定法の提案と確率論的地震ハザード評価への影響評価 |
| C000557 | 小川 好 | なし | 弾性から降伏まで一貫して表現する構成式 |
| C000652 | 石丸 真 | 電力中央研究所 | 断層のせん断破壊後の強度変形特性 |

## b-2 杭および基礎構造(1)

## b-2 Piles and foundation structures (1)

2026/11/26 09:30-11:10 第 7 会場 / Room 7

座長：的場 萌子（建築研究所）

Chair: Moeko Matoba (Building Research Institute)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000037 | 福田 健 | 戸田建設 | 場所打ち鋼管コンクリート杭の杭頭埋込み部における構造実験 |
| C000158 | 益子 快 | 東京理科大学 | 実体波斜め入射および表面波入射時における群杭基礎の 3 次元杭応力評価 |
| C000189 | 伊藤 暉浩 | 東京科学大学　環境・社会理工学院 | 基礎梁で連結した複数の SC 杭における損傷の進展と応力状態の変化 |
| C000238 | 田中 椋 | 静岡理工科大学 | 偏心を有するト型試験体を用いた現場打ち RC 杭の機械式定着に関する研究 |
| C000241 | 宇野 瑞穂 | 静岡理工科大学 | 十字型試験体を用いたパイルキャップせいをパラメータとした場所打ち RC 杭の機械式定着に関する実験的研究 |

## c-1 ライフライン & c-5 マルチハザード・複合災害・広域災害・感染症対策(Covid19)

## c-1 Lifeline & c-5 Multi-hazards, compound and cascading disasters, wide-area disasters, Covid19

2026/11/26 09:30-11:10 第 8 会場 / Room 8

座長：西野 智研（京都大学）

Chair: Tomoaki Nishino (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000113 | 鈴木 崇伸 | 東洋大学 | 地盤変位吸収能力を用いた水道配水管の性能比較 |
| C000301 | 清水 智 | 応用地質株式会社 | 過去 30 年間の水道管路の耐震化・更新が被災企業の復旧過程に与えた効果に関する一検討<br>―2016 年熊本地震を対象としたケーススタディ― |
| C000340 | 風見 陸 | 千葉大学 | 低圧ガス導管被害予測モデルの精度に及ぼす学習データ構成の影響 |
| C000649 | 大沼 陽斗 | 千葉大学 | 衛星画像の深層学習による自然災害時の橋梁被害の広域把握に向けた検討 |
| C000655 | 三浦 篤史 | 山形大学 | 地震後の剛性低下を考慮した土砂荷重を受ける木造家屋の挙動に関する検討 |
| C000662 | 宮坂 良平 | 北海道大学 | 複数ハザード下における災害リスクの類型化―災害リスク評価の視点の違いに着目して― |

## [OS-16] 近年の被害地震の強震動を踏まえた地盤震動研究：成層地盤から不整形地盤まで (2)

## [OS-16] Ground motion research based on lessons from recent destructive earthquakes: From horizontally layered structure to irregular ground structure (2)

2026/11/26 11:20-13:00 第 1 会場 / Room 1

座長：津野 靖士（東京科学大学）

Chair: Yasushi Tsuno (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000507 | 竹中 博士 | 岡山大学 | ★スタガード格子差分法による陸海統合地震動シミュレーションのための陸上地形－海底地形－海面の境界条件の統一的スキーム：原理（その心）の再訪と実用例 |
| C000058 | 上林 宏敏 | 京都大学複合原子力科学研究所 | 大阪堆積盆地における想定南海トラフ巨大地震予測波の分離 SH および P-SV 波動場の伝播・増幅特性 |
| C000191 | 杉山 充樹 | 大林組 | エネルギーフラックスに基づく関東平野における地震波の増幅的干渉に関する考察 |
| C000681 | 東 泰生 | 京都大学 | 2004 年紀伊半島南東沖の地震による長周期地震動における，大阪堆積盆地を含む伝播経路特性 |
| C000502 | 久田 嘉章 | 工学院大学 | 統計的グリーン関数法における半無限平行成層地盤の理論グリーン関数の適用　（その 1）深部地盤構造の層別 Q 値や震源深さの違いによる短周期強震動特性 |

## [OS-11] 津波シミュレーションと実務設計のギャップを埋める：荷重評価の実装への挑戦

## [OS-11] Integrating Tsunami Simulation with Practical Design: Challenges in Implementing Tsunami Load Assessment

2026/11/26 11:20-13:00 第 2 会場 / Room 2

座長：鳴原 良典（防衛大学校）

Chair: Yoshinori Shigihara (National Defense Academy)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000309 | 福井 信気 | 名古屋工業大学 | ★平面 2 次元浸水解析における建物抗力・体積を考慮したサブグリッドモデルの精度検証 |
| C000099 | 中島 彩葉 | 東京都立大学 | 2 方向から 入射する津波波力に関する実験的研究 |
| C000162 | 壁谷澤 寿一 | 東京都立大学 | ★津波避難施設の構造設計と数値流体解析 |
| C000213 | 鳴原 良典 | 防衛大学校 | ★防潮壁背後に立地する建築物に作用する津波波力評価に関する実験・解析的検討 |
| C000025 | 大村 浩之 | 防災科学技術研究所 | ★SPH-FEM 強連成解析手法を用いた柔軟構造物による波浪減衰効果の評価 |
| C000148 | 甲斐田 秀樹 | 一般財団法人電力中央研究所 | ★津波漂流物の衝突荷重評価に関する不確実さ要因 |
| C000266 | 大家 隆行 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 | ★津波波力に関する文献のシステマティックレビュー |

## b-5 建築構造物(2)

## b-5 Building structures (2)

2026/11/26 11:20-13:00 第 3 会場 / Room 3

座長：調整中
Chair: To be determined

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000062 | 高田 実優 | 神戸大学大学院工学研究科 博士課程前期課程 | 統計分析による立体フレームモデルの応答特性分析と部材の影響評価 |
| C000067 | 熊谷 百乃佳 | 東京理科大学 | 地震力と津波力の連続作用が木造住宅の柱脚接合部の損傷に及ぼす影響 |
| C000088 | 保坂 瑞希 | 大林組　技術研究所 | 2025 年日本国際博覧会の大屋根リングの振動計測とその分析（その 2）北東工区の躯体完成時から閉幕時における振動特性の変化 |
| C000115 | 朱島 瑞棋 | 京都大学 | 鋼繊維補強鉄筋コンクリート耐震壁を対象とした有限要素解析によるひび割れ定量化の妥当性検討 |
| C000118 | 佐々木 秀輔 | 新潟大学 | RC 建物が限界変形に至る時間および限界所要耐力に関する地震応答解析 |
| C000560 | 杉谷 聡介 | 大阪大学 | CLT 壁板を有する RC 架構の振動台実験の予備解析と実験結果との比較 |

## b-7 免震・制振・構造ヘルスモニタリング(2)

## b-7 Seismic Isolation, Vibration Control, and Structural Health Monitoring (2)

2026/11/26 11:20-13:00 第 4 会場 / Room 4

座長：山本 雅史（竹中工務店）
Chair: Masashi Yamamoto (Takenaka Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000126 | 金澤 健司 | 電力中央研究所 | 新築免震建物を対象とした常時変形モニタリング |
| C000138 | 阿久戸 信宏 | 日本大学 | 振動台実験およびリアルタイムハイブリッドシミュレーションを用いた鉛直シアリンク機構を有する鉄塔構造物の応答評価 |
| C000150 | 郭 鈞桓 | 日本大学 | 慣性質量（D.M.）同調システムを用いた TMD 装置の開発と実験的検証 |
| C000157 | 梁 其峻 | 東京科学大学 | ブレース剛性を考慮した粘弾性ダンパー付き超高層建物の地震応答に対する初期温度および発熱の影響 |
| C000177 | 森田 慶子 | 福岡大学 | 長期クリープ試験を実施した積層ゴムの経年変化に関する研究 |
| C000200 | 湯川 正貴 | 大林組 | 積層ゴム支承を用いた水平二方向の静的載荷試験 |
| C000202 | 小林 真帆 | 東京科学大学 | 天然ゴム系積層ゴムの各種依存性・終局挙動に及ぼすスケール効果に関する実験 |

## [OS-20] 地震工学の最前線：国際留学生・研究者交流セッション

## [OS-20] Earthquake Engineering Frontiers: An International Forum without Borders

2026/11/26 11:20-13:00 第 5 会場 / Room 5

座長：吉見 雅行（産業技術総合研究所）

Chair: Masayuki Yoshimi (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000355 | ISLAM HAOUAS | University of Tsukuba | Data-Driven System Identification and Nonlinear Seismic Response Analysis of a Long-Span Cable-Stayed Bridge under Long-Period Ground Motions |
| C000627 | Julian Miller PALACIOS ESPINOZA | Department of Civil Engineering, The University of Tokyo | Study on Three-Dimensional Seismic Slope Stability Analysis of Costa Verde Cliffs in Lima, Peru |
| C000684 | Connor Marcus Davidson | University of Tokyo | Torsional Response of a Curved Girder Bridge Under Bidirectional Seismic Excitation |
| C000689 | Guojun Liu | Nagasaki University | Effects of Volcanic Ash Components on the Liquefaction Resistance of Soils Subjected to Repeated Seismic Loading |

## a-4 地盤の液状化・斜面崩壊(1)

## a-4 Soil liquefaction/slope failure (1)

2026/11/26 11:20-13:00 第 6 会場 / Room 6

座長：飛田 哲男（関西大学）

Chair: Tetsuo Tobita (Kansai University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000018 | 福武 毅芳 | 大崎総合研究所 | 液状化地盤に建つ偏心直接基礎構造物の格子状地盤改良による変形抑制効果 |
| C000034 | 藤田 豊 | 清水建設株式会社 | 杭基礎で支持された高圧ガス設備の側方流動による耐震性検討 |
| C000040 | 眞野 英之 | 清水建設株式会社 | 液状化に起因する側方流動に対する地下水位の影響と対策 |
| C000079 | 古閑丸 子龍 | 福岡大学大学院 | 豪雨および地震に起因する斜面崩壊時 Newmark 土塊滑動量予測法と平成 28 年熊本地震への適用 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000108 | 小野寺 智哉 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 | 鉄道盛土下の液状化対策における未改良域の影響に関する解析的検討 |
| C000143 | 松丸 貴樹 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 | 火山灰質粗粒土の液状化時における粒子破砕挙動把握を目的とした揚圧実験と解析的検討 |
| C000166 | 出野 智之 | 株式会社不動テトラ | SCP 改良地盤における CPT による強度の経時変化に関する考察 |

## b-2 杭および基礎構造(2)

## b-2 Piles and foundation structures (2)

2026/11/26 11:20-13:00 第 7 会場 / Room 7

座長：川上 邦博（原田興産）

Chair: Kunihiro Kawakami (Harada Kosan Co., Ltd.)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000327 | 太田 菜生 | 東京科学大学　環境・社会理工学院 | 既存の数値モデルを用いた小径の場所打ち鋼管コンクリート杭の曲げ解析 |
| C000513 | 広瀬 翔子 | 東京科学大学 | 685MPa 級高強度せん断補強筋を用いた鉄筋コンクリート杭のせん断耐力抵抗機構解明に関する解析的研究 |
| C000535 | 中嶋 洸佑 | 中央大学 | 直接基礎模型の浮き上がり・転倒挙動に関する水平 2 方向加振実験（地震動による違い） |
| C000641 | 川上 邦博 | 原田興産（㈱） | 2016 年熊本地震におけるコマ型基礎の液状化被害抑制効果 |
| C000729 | Hyunho Kim | Kongju National University | DYNAMIC CENTRIFUGE TESTS OF SHALLOW FOUNDATION SUPPPORING SINGLE-DEGREE-OF-STRUCTURE AT FLAT AND SLOPE GROUNDS |

## c-6 レジリエンス・BCP & c-7 その他

## c-6 Resilience and BCP & c-7 Others

2026/11/26 11:20-13:00 第 8 会場 / Room 8

座長：松島 信一（京都大学）

Chair: Shinichi Matsushima (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000024 | 座間 信作 | 横浜国立大学 | 石油タンクの地震時健全性評価システムの開発と活用 |
| C000187 | 小穴 温子 | 清水建設 | 建物のライフタイム地震レジリエンス性能評価に向けた研究　―100 年間における地震発生シナリオと地震動シークエンスのモデル化― |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000215 | 岡沢 理映 | 清水建設(株) | 建物のライフタイム地震レジリエンス性能評価に向けた研究-非構造部材・設備の復旧時間を考慮した地震リスク評価と耐震対策の効果- |
| C000312 | 井口 真吾 | NTT ファシリティーズ | 地震で被災した鉄骨造建築物の被災度区分判定基準に基づく簡易評価手法の提案 |
| C000487 | 豊田 佳壱 | 東京科学大学 | 地震後の気密性能保持に着目した木造住宅の耐震レジリエンス性能の評価 |
| C000586 | 西野 智研 | 京都大学 | 津波からの垂直避難後の屋外寒冷曝露による低体温症の発症予測のための人体熱モデルの構築 |

## [OS-16] 近年の被害地震の強震動を踏まえた地盤震動研究：成層地盤から不整形地盤まで (3)

## [OS-16] Ground motion research based on lessons from recent destructive earthquakes: From horizontally layered structure to irregular ground structure (3)

2026/11/26 14:30-16:10 第 1 会場 / Room 1

座長：上林 宏敏（京都大学複合原子力科学研究所）
Chair: Hirotoshi Uebayashi (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000619 | 佐藤 浩章 | 電力中央研究所 | ★地形指標としての尾根谷度が地震動予測 PGA 残差に与える影響の検討 ―強震動フラットファイルと MF13 式の比較による評価― |
| C000417 | 大子田 菜々生 | 東北電力 | 観測記録にみられた伝達特性の特徴の解釈に向けた地形効果の分析 |
| C000692 | 岩本 寿美 | 東京科学大学 | 青森県竜飛崎における地表及び斜坑の稠密地震観測データを用いた地形効果の定量評価 |
| C000320 | 津野 靖士 | 東京科学大学 | 地震動の自己相関関数より推定した青函トンネル内の地下速度構造 |
| C000477 | 貝柄 敬哉 | 京都大学大学院工学研究科 | 宮崎平野における深部地盤を含めた速度構造の推定 |
| C000208 | 笠松 健太郎 | 鹿島建設 | 臨時地震観測記録を用いた逆解析による KiK-net 陸前高田周辺の 3 次元地盤モデルの評価 |

## [OS-02] 機械システムの耐震／振動制御／応答予測 (1)

## [OS-02] Seismic Safety, Vibration Control, and Response Prediction for Mechanical Systems (1)

2026/11/26 14:30-16:10 第 2 会場 / Room 2

座長：古屋 治（東京電機大学）
Chair: Osamu Furuya (Tokyo Denki University)

| 投稿受付番号 | 発表者氏名 | 発表者所属 | 発表題目 |
|---|---|---|---|

| Submission No. | Presenter | Affiliation | Title |
|---|---|---|---|
| C000561 | 深沢 剛司 | 東京電機大学 | ★最適化・機械学習による 3 次元免震システム開発と微分方程式型履歴モデルに関する研究 |
| C000020 | ベニョセフ アブデルカデル | ゲルブ・ジャパン株式会社 | 多層建物の地震応答低減を目的とした同調振動数分布型 MTMD の設計 |
| C000416 | 野辺 圭一郎 | 京都工芸繊維大学 | ON-OFF 制御を用いたブレーキでの地震時におけるキャスタ機器の移動抑制と転倒防止 |
| C000609 | 武井 章悟 | 明治大学大学院 | ステッピングモータを用いた電磁抵抗ダンパの振動制御 |

## b-5 建築構造物(3)

## b-5 Building structures (3)

2026/11/26 14:30-16:10 第 3 会場 / Room 3

座長：壁谷澤 寿一（東京都立大学）

Chair: Toshikazu Kabeyasawa (Tokyo Metropolitan University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000124 | 渋市 克彦 | 株式会社大林組技術研究所 | 矩形人通口を有す RC 基礎梁のせん断性能に関する実験的研究 |
| C000128 | 戸松 沙英 | 東京理科大学 | 超高層 RC 造建物の 1 次および 2 次固有周期に基づく曲げせん断変形比に関する基本検討 |
| C000145 | 王 欣 | 足利大学 | 非線形成層 Timoshenko 梁モデルに基づく建物内波動場の再構築および深層学習による異常検知 |
| C000146 | 佐竹 小雪 | 東京大学 | 地震入力と応答に関する指標の相関性 |
| C000153 | 髙野 智樹 | 東京科学大学 | 鋼板耐震壁の簡易モデル化手法の動的解析による妥当性検証 |
| C000173 | 大塚 悠里 | 国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター | IISEE 組積造構造実験データベースを用いた統計的解析手法に基づく組積造壁の復元力特性に関する研究 |
| C000176 | 髙橋 英輔 | 東京大学 | 一度損傷を受けた鉄骨梁の繰り返し挙動に与えるひずみ時効の影響 |

## b-7 免震・制振・構造ヘルスモニタリング(3)

## b-7 Seismic Isolation, Vibration Control, and Structural Health Monitoring (3)

2026/11/26 14:30-16:10 第 4 会場 / Room 4

座長：松崎 裕（東京科学大学）

Chair: Hiroshi Matsuzaki (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000235 | 中川 肇 | 兵庫県立大学 | 地震リスクを考慮した介護施設併設型高齢者免震住宅の耐震安全性評価～鉛プラグと球面すべり支承における耐力低下率の比較検討～ |
| C000249 | Woosun Lee | konkuk university | Effect of Thermal Friction Degradation on Seismic Performance of FPB Isolated Bridge Structures |
| C000254 | 深澤 優太 | 東京理科大学 | 確率部分空間法による免震建物の多点高密度振動特性評価 |
| C000265 | 池田 雄一 | 高知工業高等専門学校 | 国内外で観測された主要な強震動に対する免震形式の違いによる免震建物の最大免震層変位応答量に関する一考察 |
| C000283 | 厚海 二郎 | 埼玉大学 | 低温環境下における高減衰ゴム支承の橋梁免震性能に関する実験的研究 |
| C000295 | 佐藤 恵佑 | 明治大学 | 粘性ダンパーを有する制振建物のエネルギー法に基づく構造計算法の提案 |
| C000668 | 吉原 大瑛 | 名城大学 | 複雑な履歴となる制振壁の簡易モデル化手法と二質点系モデルを用いた時刻歴応答解析による精度検証 |

## [OS-04] 激甚化する複合災害と少子高齢化社会における防災対策のパラダイム変換 (1)

## [OS-04] Paradigm Shift in Disaster Prevention Measures for Increasingly Severe Compound Disasters in Aging Society with Declining Birth Rate (1)

2026/11/26 14:30-16:10 第 5 会場 / Room 5

座長：村上 正浩（工学院大学），竹林 洋史（京都大学）
Chairs: Masahiro Murakami (Kogakuin University), Hiroshi Takebayashi (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000503 | 久田 嘉章 | 工学院大学 | ★近年の複合災害と防災対策のパラダイム変換、および、分野横断による調査研究事例 |
| C000028 | 平石 哲也 | 沿岸技術研究センター | ★流起式可動型津波防波堤の適用性 |
| C000279 | 安田 進 | 東京電機大学 | ★種々の地盤災害が都市域に与える被害と対応の現状 |
| C000574 | 姥浦 道生 | 東北大学 | ★土地利用マネジメントを通じた災害リスクマネジメント |
| C000294 | 竹林 洋史 | 京都大学 | 土石流災害のハード対策のパラダイムシフト　～剛から柔へ～ |

## a-4 地盤の液状化・斜面崩壊(2)

## a-4 Soil liquefaction/slope failure (2)

2026/11/26 14:30-16:10 第 6 会場 / Room 6

座長：志賀 正崇（東京都立大学）
Chair: Masataka Shiga (Tokyo Metropolitan University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000175 | 川崎 佑斗 | 鉄道総合技術研究所 | 観察窓を有するせん断土槽を用いた液状化層の地震時変形挙動に関する振動台実験 |
| C000203 | 渡邊 大樹 | 応用地質株式会社 | 熊本市近見地区における地下水位低下工法による宅地液状化防止事業 |
| C000258 | 西村 友良 | 足利大学 | 蒸気圧法による高サクション制御を受けた不飽和土の動的強度・変形特性 |
| C000319 | 安田 夏実 | 宇都宮大学大学院 | 繰返しせん断履歴を与えた細粒分混じり砂の体積圧縮量の把握 ～低塑性細粒分を含む試料を使用した排水量の測定～ |
| C000325 | 沢津橋 雅裕 | 電力中央研究所 | 固結砂の地震時安定性評価に関する遠心力模型実験と簡易判定手法の提案 |
| C000357 | 唐澤 月寧 | 宇都宮大学大学院 | 破砕性土粒子を混合した粗粒土の液状化特性 |
| C000370 | 村上 哲 | 福岡大学 | 地盤情報データベースに基づく空間推定不確実性を考慮した液状化危険度の確率論的評価 |

## [OS-19] 『公助』の不足を補う社会連携活動～防災ビジネスの創造と育成を考える～

## [OS-19] Social Collaboration to Fill the Reduction of Public Support: Toward the Creation and Promotion of Disaster Risk Reduction Businesses

2026/11/26 14:30-16:10 第 7 会場 / Room 7

座長：村尾 修（東北大学）
Chair: Osamu Murao (Tohoku University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000384 | 目黒 公郎 | 東京大学 | 今後の我が国の災害対策における「防災ビジネス」の重要性 |
| C000286 | 蛭間 芳樹 | 日本政策投資銀行 | ★防災の産業化，リスクファイナンス国際ルール形成への挑戦―防災価値の創造― |
| C000259 | 佐藤 唯行 | 一般社団法人フェーズフリー協会 | ★フェーズフリーによる防災ビジネスの市場創造と社会連携モデルの構築― 「日常」を超えた価値を創るデザイン ― |
| C000041 | 東條 孝明 | 株式会社防災ログ | ★防災特化型プラットフォームによる情報発信とイベント運営のビジネス展開 |
| C000343 | 村尾 修 | 東北大学 | ★防災ヒーローコンテンツを活用した防災教育プログラムの進捗報告 |

## c-3 防災計画・地域防災力・リスクマネジメントおよび社会・経済問題(1)

## c-3 Disaster prevention planning/risk management and social/economic issues (1)

2026/11/26 14:30-16:10 第 8 会場 / Room 8

座長：畑山 満則（京都大学）

Chair: Michinori Hatayama (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000043 | 稲宮 健一 | 科学技術者フォーラム | 直下地震に対する耐震脱線防止の一提案（その３） |
| C000050 | 鈴木 惠登 | 茨城大学 | 津波避難シミュレーションに向けた人間の浸水時歩行挙動解析モデルの構築 |
| C000144 | 大渕 正博 | 株式会社竹中工務店 | 地震リスクを考慮したホールライフカーボン評価手法の提案と適用（その１）評価手法および RC 造建物への適用結果 |
| C000149 | 藤井 中 | 竹中工務店 | 特性関数を用いたポートフォーリオ PML3 の評価事例について |
| C000296 | 中嶋 洋介 | イー・アール・エス | 地震後の避難所建物における非専門家の安全確認支援に関する実証研究 |
| C000307 | 伊東 一輝 | 株式会社竹中工務店 | 地震リスクを考慮したホールライフカーボン評価手法の提案と適用（その２）S 造建物への適用結果 |
| C000345 | Songhe Liu | Hokkaido University | Estimation of Human Casualties Considering Seismic Source Uncertainty: A Case Study of Kushiro City |

## [OS-16] 近年の被害地震の強震動を踏まえた地盤震動研究：成層地盤から不整形地盤まで (4)

## [OS-16] Ground motion research based on lessons from recent destructive earthquakes: From horizontally layered structure to irregular ground structure (4)

2026/11/26 16:20-18:00 第 1 会場 / Room 1

座長：浅野 公之（京都大学防災研究所）

Chair: Kimiyuki Asano (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000562 | 山中 浩明 | 東京科学大学 | ★2023 年トルコ南東部地震の被災地の強震観測点での地盤震動特性 |
| C000599 | 大野 登羽 | 東京科学大学 | 2023 年トルコ・シリア地震の被災地域における稠密強震記録の地震波伝播解析 |
| C000170 | 香川 敬生 | 鳥取大学 | 常時微動に見られる地表地震断層ごく近傍の地盤震動特性 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000624 | 小阪 宏之 | 戸田建設 | スペクトルインバージョン手法に基づく石川県輪島市内の臨時余震観測点のサイト増幅特性 |
| C000139 | 野口 竜也 | 鳥取大学 | 令和 6 年能登半島地震による被害地域－能登町松波地区－における微動観測 |

## [OS-02] 機械システムの耐震／振動制御／応答予測 (2)

## [OS-02] Seismic Safety, Vibration Control, and Response Prediction for Mechanical Systems (2)

2026/11/26 16:20-18:00 第 2 会場 / Room 2

座長：皆川 佳祐（埼玉工業大学）

Chair: Keisuke Minagawa (Saitama Institute of Technology)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000679 | 上野 至趣 | 山口大学 | 振動抑制を目的とした配管レイアウトおよびサポート設置位置の自動設計に関する研究 |
| C000232 | 福島 大智 | 東京都市大学 | 支持部の損傷を伴う配管系の地震応答に対する入力波の影響評価 |
| C000534 | 深沢 剛司 | 東京電機大学 | 低損傷確率データに基づくフラジリティ曲線の償却型ベイズ推論 |
| C000291 | 饗庭 天暉 | 東京電機大学大学院 | マルチモーダルな深層学習を用いた構造ヘルスモニタリング手法に関する検討（iPhone への実装と実構造物の損傷検出精度の検証） |
| C000323 | 赤岩 秀哉 | 東京電機大学大学院 | 深層学習を援用した目標床応答スペクトルを満たす目的関数の提案 |
| C000612 | 岩本 有輝 | 東京電機大学 | p-ノルムと関連流れ則を用いた二方向微分方程式型履歴モデルの静的載荷試験に基づく検証（天然ゴム系積層ゴム・鉛プラグ入り積層ゴム） |
| C000613 | 今井 朝陽 | 東京電機大学 | 深層学習を用いた弾塑性応答を示す構造物の逆解析に関する基礎的検討 |

## b-5 建築構造物(4)

## b-5 Building structures (4)

2026/11/26 16:20-18:00 第 3 会場 / Room 3

座長：菅野 秀人（秋田県立大学）

Chair: Hideto Kanno (Akita Prefectural University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000188 | 久保田 直人 | 東京都立大学 | 二方向から入射する津波波力に関する解析的研究 |
| C000194 | 久保 毅晃 | 株式会社 NTT ファシリティーズ | 長期観測記録に基づく低層鉄骨造建物の構造特性 |
| C000206 | 吉敷 祥一 | 東京科学大学 | 2024 年能登半島地震における建築物被害と被災後の経過に関する調査 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000207 | 吉富 優輝 | 東京科学大学 | 梁端に生じた局部座屈により損傷した H 形断面梁部材の補修方法と補修部材設計法 |
| C000229 | 谷嶋 航 | 鉄道総合技術研究所 | 線路上空建築物を対象とした効率的な地震挙動推定手法の開発 |
| C000239 | 田尻 清太郎 | 東京大学 | 漸増動的解析を用いた全体崩壊形を保証するための設計条件に関する研究 |
| C000248 | 木下 貴博 | 竹中工務店 | 2025 年日本国際博覧会の大屋根リングの振動計測とその分析（その 3）西工区の微動観測と振動特性 |

## b-7 免震・制振・構造ヘルスモニタリング(4)

## b-7 Seismic Isolation, Vibration Control, and Structural Health Monitoring (4)

2026/11/26 16:20-18:00 第 4 会場 / Room 4

座長：武田 篤史（（株）大林組）

Chair: Atsushi Takeda (Obayashi Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000695 | 白山 敦子 | 徳島大学 | 長周期地震動における深部地盤構造の違いが免震建物の繰り返し特性変化に及ぼす影響 |
| C000315 | 伊丹 十夢 | 東急建設 | 気象条件を考慮した実建物の 1 次固有振動数の変動評価 |
| C000350 | 武下 昂平 | 大阪大学 | 大振幅地震動を受ける免震建物の周辺擁壁衝突に伴う室内家具の転倒挙動に関する解析的研究 |
| C000365 | 山上 聡 | 奥村組 | 40 年実使用した天然ゴム系積層ゴム支承の経年変化 |
| C000377 | 天方 留奈 | 明治大学 大学院 理工学研究科 | 懸架型パラレルリンク機構の初期形状が免震性能に及ぼす影響 |
| C000398 | 劉 銘崇 | 清水建設株式会社 | コンクリートの免震すべり支承への適用に関する実験的研究 |

## [OS-04] 激甚化する複合災害と少子高齢化社会における防災対策のパラダイム変換 (2)

## [OS-04] Paradigm Shift in Disaster Prevention Measures for Increasingly Severe Compound Disasters in Aging Society with Declining Birth Rate (2)

2026/11/26 16:20-18:00 第 5 会場 / Room 5

座長：久田 嘉章（工学院大学），竹林 洋史（京都大学）

Chairs: Yoshiaki Hisada (Kogakuin University), Hiroshi Takebayashi (Kyoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000100 | 田村 和夫 | 神奈川大学 | 木造家屋の氾濫時外力に対する抵抗メカニズムに関する考察 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000102 | 和田 章 | 東京工業大学 | 建設技術の追求と建設の前に、誰のため、何のために建設するかを熟考すべき |
| C000348 | 村上 正浩 | 工学院大学 | 令和 7 年大船渡市大規模林野火災による被害拡大と復興に関する一考察 |
| C000023 | 武村 雅之 | 名古屋大学 | 昭和東南海地震を伝える報道統制下の新聞記事: 戦時下の救援・救護の実態を知る |
| C000364 | 劉 虹 | 明治大学 | 第一線研究者へのインタビューに基づく災害調査の経験知および多分野連携上の課題 |

## a-4 地盤の液状化・斜面崩壊(3)

## a-4 Soil liquefaction/slope failure (3)

2026/11/26 16:20-18:00 第 6 会場 / Room 6

座長：松丸 貴樹（鉄道総合技術研究所）

Chair: Takaki Matsumaru (Railway Technical Research Institute)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000406 | Yu Feng LIN | Department of Civil and Construction Engineering, National Taiwan University of Science and Technology | Estimation of Liquefaction-Induced Tilting in Eccentrically Loaded Foundations: A Case Study of Wajima City |
| C000577 | 本多 剛 | 竹中工務店 | 地盤の液状化強度の増加に影響する種々の要因と応力パスとの関係 |
| C000578 | 馬越 大輔 | 愛媛大学 | ドレーン改良地盤における水圧消散に伴う地震時沈下挙動の実験的検証 |
| C000581 | 村上 晴菜 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 | N1 値の空間変動を考慮した液状化危険度の不確実性評価 |
| C000632 | 小木 博貴 | 法政大学 | 多次元化液状化構成則を組み込んだ SPH 法による有効応力解析手法の提案 |
| C000713 | 日開 洸太 | 応用地質株式会社 | 令和 6 年能登半島地震による金沢市の液状化被害の特徴と地下水位低下工法の検討 |

## c-3 防災計画・地域防災力・リスクマネジメントおよび社会・経済問題(2)

## c-3 Disaster prevention planning/risk management and social/economic issues (2)

2026/11/26 16:20-18:00 第 8 会場 / Room 8

座長：小山 真紀（Co-Innovation University）

Chair: Maki Koyama (Co-Innovation University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000600 | 絹川 グリボスタン | 東京大学 | 大規模災害における被害分布の裾特性の定量化と国際比較 |
| C000628 | 畑山 満則 | 京都大学 | 令和 6 年能登半島地震における道路啓開・復旧過程の調査から得られた課題 |
| C000686 | 伊藤 嘉信 | 東京大学大学院 | 災害対策本部運営訓練における初動対応プロセスの客観的評価手法の提案 |
| C000411 | 春名 義之 | 東京大学生産技術研究所 RC-77 | 地震防災の社会実装を支えるメタバース・XR 教育基盤に関する研究― XR／3DCG 体験による危機認知・行動意図変容の定量評価と継続運用条件の検討 ― |
| C000501 | 小山 真紀 | Co-Innovation University | 地域防災人材育成プログラムに関するアンケート調査-愛知・岐阜・三重の県・大学連携センターを対象として- |
| C000644 | 崔 青林 | 北海道立総合研究機構 | 異なる被害関数の統合による直接被害額の高解像度推計―複数地震への適用結果の検討― |
| C000438 | 羽田 優太 | 大成建設株式会社 | 法務省登記筆を最小単位とする機械学習型土地利用推定手法の検討 |

## [OS-06] 2024 年能登半島地震による地盤災害からの教訓 (1)

## [OS-06] Learned from Geotechnical damages Caused by the 2024 Noto Peninsula Earthquake (1)

2026/11/27 09:00-10:40 第 1 会場 / Room 1

座長：豊田 浩史（長岡技術科学大学）

Chair: Hirofumi Toyota (Nagaoka University of Technology)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000527 | 小林 俊一 | 金沢大学 | ★2024 年能登半島地震に伴う地盤災害とその教訓 |
| C000029 | 志賀 正崇 | 東京都立大学 | 地形量を用いた機械学習による S 波速度構造予測と新潟市内での微動アレイ観測との比較 |
| C000033 | 仮屋 直紀 | 東京大学生産技術研究所 | 令和 6 年能登半島地震による内灘町西荒屋地区の液状化被害と土地改変履歴の影響 |
| C000061 | Anurag Sahare | Tokyo City University | CONTRASTING LIQUEFACTION-INDUCED DEFORMATION MECHANISMS AT NISHIARAYA AND MURO DURING THE 2024 NOTO PENINSULA EARTHQUAKE |
| C000131 | 松橋 典子 | 長岡技術科学大学 | 高密度地震観測記録を用いた新潟市の表層地盤増幅率評価と地震ハザード評価の妥当性検証 |
| C000240 | Faiqa Shahid | Nagaoka University of Technology | Spatial analysis of earthquake-induced surface change using InSAR based coherence in Niigata city during 2024 Noto Peninsula Earthquake |
| C000264 | 石川 敬祐 | 東京電機大学 | 砂丘縁辺部における液状化流動に対する地表面勾配と地下水勾配の評価 |

## [OS-03] コミュニティ断層モデルと地震災害研究の未来 (1)

## [OS-03] Community Fault Models as a Foundation for Future Earthquake Hazard Studies (1)

2026/11/27 09:00-10:40 第 2 会場 / Room 2

座長：岩佐 佳哉（福岡教育大学）
Chair: Yoshiya Iwasa (University of Teacher Education Fukuoka)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000647 | 吾妻 崇 | 産業技術総合研究所 | ★日本版コミュニティ断層モデルの構築 |
| C000700 | 赤井 東 | 産業技術総合研究所 | 日本版コミュニティ断層モデルの構築手法について |
| C000212 | 岩佐 佳哉 | 福岡教育大学 | ★地形データがもたらす活断層トレース認定の高度化 |
| C000480 | 吉村 辰朗 | 第一復建株式会社 | 熊本地震での連動型地震を解する活断層帯モデル |
| C000290 | 福島 洋 | 東北大学災害科学国際研究所 | ★SAR 地殻変動解析による断層形状把握の進展とコミュニティ断層モデルへの貢献の可能性 |

## b-5 建築構造物(5)

## b-5 Building structures (5)

2026/11/27 09:00-10:40 第 3 会場 / Room 3

座長：高橋 之（大阪大学）
Chair: Susumu Takahashi (Osaka University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000256 | 伊山 潤 | 東京大学 | ジャイロセンサを用いた地震時応答計測による梁端損傷検出手法に関する研究 |
| C000269 | 須貝 真由香 | 東京理科大学 | ヒンジリロケーション工法を用いたト形柱梁接合部の構造性能評価に関する実験的研究 |
| C000273 | 柳田 佳伸 | 青木あすなろ建設 | 鋼構造低層剛接骨組の柱脚形式に着目した強震時の損傷特性（その 3） |
| C000270 | YUKUN DU | Graduate School of Engineering, The University of Tokyo | Analytical Study on Equivalent Viscous Damping Formulas for Asymmetric Bi-linear Structures |
| C000410 | 持田 誓 | 名古屋大学 | 統計データによる都市域の地震時建物転倒可能性評価 |
| C000421 | 村山 幸翼 | 秋田県立大学大学院 | 複数開口を有する RC 造耐震壁のひび割れ時耐力に関する考察 |
| C000424 | 山室 彬紗 | 東京大学 | 遊泳プール・高層建物連成解析によるスロッシング時の建物応答への影響評価 |
| C000608 | Kun-Sian Lin | National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience | DYNAMIC RESPONSE ASSESSMENT AND NUMERICAL SIMULATION OF STEEL GYMNASIUMS WITH NON-STRUCTURAL COMPONENTS |

## [OS-05] 2016 年熊本地震から 10 年―復旧・復興の知見から考える地震レジリエンス―

## [OS-05] 10 Years After the 2016 Kumamoto Earthquake: Insights from Recovery and Reconstruction Toward Seismic Resilience

2026/11/27 09:00-11:30 第 4 会場 / Room 4

座長：杉山 佑樹（鉄道総合技術研究所），伊東 亮（東芝）

Chairs: Yuki Sugiyama (Railway Technical Research Institute), Ryo Ito (Toshiba Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000433 | 西田 秀明 | 国立研究開発法人土木研究所 | ★新阿蘇大橋の計画・設計におけるレジリエンス向上のための新しい発想 |
| C000405 | 大木 鉄夫 | 国土交通省九州地方整備局阿蘇砂防事務所 | ★平成２８年熊本地震による阿蘇大橋地区大規模斜面崩壊の復旧対策について |
| C000281 | 堂地 利弘 | 大林組 | ★熊本城天守閣の震災復旧と耐震改修 |
| C000403 | 貞許 美和 | 株式会社　日建設計 | ★2016 年熊本地震の教訓を反映した大規模複合施設の地震レジリエンス設計：熊本都市計画桜町地区第一種市街地再開発事業 |
| C000151 | 高山 峯夫 | 福岡大学 | ★熊本地震における建物被害と免震構造の効果 |
| C000368 | 能島 暢呂 | 岐阜大学 | ★近年の我が国の主要地震におけるライフライン被害・復旧過程再考 ～比較災害論の観点から～ |
| C000618 | 奥村 与志弘 | 関西大学 | ★2016 年熊本地震における災害関連死の再評価 |
| C000497 | 吉永 浩伸 | 熊本市 政策局 危機管理部 | ★平成 28 年熊本地震 10 年間の歩みと 更なる発展へ |

## [OS-13] 地震工学・防災分野における分布型光ファイバー計測技術の展開 (1)

## [OS-13] Distributed Optical Fiber Sensing in Earthquake Engineering and Seismic Resilience (1)

2026/11/27 09:00-10:40 第 5 会場 / Room 5

座長：鍬田 泰子（神戸大学）

Chair: Yasuko Kuwata (Kobe University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000192 | 吉見 雅行 | 産業技術総合研究所地質調査総合センター | ★東海道新幹線布設光ファイバーにおける DAS 計測 |
| C000253 | 片上 智史 | 公益財団法人　鉄道総合技術研究 | ★鉄道地震防災への DAS 活用可能性に関する検討　ー土砂災害監視への展開も見据えてー |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 所 | |
| C000310 | 長谷川 明紀 | 東海旅客鉄道株式会社 | 光ファイバーケーブルを用いた DAS による地震時構造物固有振動把握 |
| C000261 | 山根 弘士 | 神戸大学 | 軌道高架橋周辺地盤で観測されたやや低周波振動の可視化 |
| C000330 | 高平 良成 | 京都大学 | 既設の光ケーブルを用いた DAS データに基づく高架橋の振動モードの分離手法 |
| C000505 | 高谷 和樹 | 東京大学 | 鉄筋コンクリート構造の詳細な力学挙動理解に向けた分布型光ファイバ計測技術の実験的活用事例 |

## b-7 免震・制振・構造ヘルスモニタリング(5)

## b-7 Seismic Isolation, Vibration Control, and Structural Health Monitoring (5)

2026/11/27 09:00-10:40 第 6 会場 / Room 6

座長：小檜山 雅之（慶應義塾大学）

Chair: Masayuki Kohiyama (Keio University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000409 | 知念 輝 | 東急建設株式会社 | 2 点加速度計測に基づく中低層耐震建物の各階応答推定精度の検証 |
| C000486 | 菅野 秀人 | 秋田県立大学 | 大質量型慣性質量ダンパーによる超高層コンクリート系建物の制振効果 |
| C000506 | 小谷 陵 | 神戸大学 | MR ダンパーを用いたセミアクティブ免震構造への EF 履歴制御則の適用性検証 |
| C000545 | 中溝 大機 | 早稲田大学 | 種々の応答制御構造の性能について地震動の偏平さを考慮に入れた評価指標に関する考察 |
| C000550 | 中 颯斗 | 神戸大学 | セミアクティブ免震構造に対するスライディングモード制御法の適用に関する研究 |
| C000558 | 千葉 一樹 | 東急建設株式会社 | 非観測階を含めた立面振動モード形状の推定手法に関する研究 |
| C000566 | 五十嵐 智輝 | 東京電機大学 | 深層学習を用いた地震動判定アルゴリズムの実装および加振実験による有効性の検証 |

## d-3 室内被害，設備被害

## d-3 Indoor damage, equipment damage

2026/11/27 09:00-10:40 第 7 会場 / Room 7

座長：吉敷 祥一（東京科学大学）

Chair: Shoichi Kishiki (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000045 | 小松 佑人 | 帝京大学 | 地震時における室内の振動実験データを用いた被害判定技術の基礎検討 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000078 | 浜田 宏一 | 帝京大学 | 3D 認識技術を用いた地震被害シミュレーションの基礎検討 |
| C000246 | 橘 一騎 | 大阪公立大学 | 可搬型端末を活用した 3D スキャニングとゲームエンジンによる室内地震被害の可視化 |
| C000252 | 米田 春美 | 竹中工務店技術研究所 | 地震時の室内空間の機能維持に関する実験における損傷調査 |
| C000300 | 水谷 国男 | 三建設備工業 | 地震後の継続使用性を確保するための設備耐震に関する研究その１　作用外力に着目した分析 |
| C000437 | 佐藤 栄児 | 国立研究開発法人防災科学技術研究所 | 室内空間・機能に着目した地震災害の再現のためのＥ－ディフェンス実験の主な結果 |
| C000657 | 渡邊 秀和 | 建築研究所 | 地震後の継続使用性を確保するための設備耐震に関する研究その２　修復時間に着目した分析 |
| C000676 | 吉澤 睦博 | 竹中工務店 | 地震時の室内空間モニタリングへのロボット活用に関する検討 |

## c-2 緊急地震速報・災害情報・リモートセンシング・リアルタイム地震防災(1)

## c-2 Emergency early warning/disaster information/remote sensing/real-time earthquake disaster prevention (1)

2026/11/27 09:00-10:40 第 8 会場 / Room 8

座長：江口 毅（山口大学）

Chair: Tsuyoshi Eguchi (Yamaguchi University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000059 | 丹羽 健友 | ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社 | 地点補正係数を活用した面的地震動分布の即時推定精度の向上 |
| C000415 | 前田 ゆき | 北海道大学 | 地震時の室内状況把握に向けた複数事象の音情報認識手法 |
| C000418 | 青井 真 | 防災科学技術研究所 | 地震・津波観測のための新たなケーブル式海底観測網：N-net |
| C000457 | 上松 大輝 | 総合研究大学院大学 | Linked Open Data 技術による地震関連データの構造化と利活用 |
| C000475 | 張 逸知 | 広島大学 | CycleGAN を用いた人工衛星画像からの影除去と建物被害推定の高精度化 |
| C000572 | 浅野 遥平 | 千葉大学 | 2024 年能登半島地震における干渉 SAR 解析と断層モデルに基づく 3 次元地殻変動の推定 |
| C000579 | 江口 毅 | 山口大学 | ALOS-2 データに基づく 2024 年能登半島地震時の耐震型ダクタイル鋳鉄管被害評価 |

## b-4 土木構造物(1)

## b-4 Civil engineering structures (1)

2026/11/27 09:00-10:40 第 9 会場 / Room 9

座長：永井 秀樹（大林組）

Chair: Hideki Nagai (Obayashi Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000293 | 福江 清久 | ナレッジフュージョン株式会社 | 多様な地震動に対する橋脚の非線形履歴特性のデータ駆動型モデリングに関する基礎的研究 |
| C000064 | 武田 龍國 | 国立研究開発法人土木研究所 | 曲線橋の耐震設計における作用設定方法に関する検討 |
| C000081 | 藤本 竜太 | 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 | 正負交番ねじりを受ける幅広断面 RC 部材の力学特性に関する実験的研究 |
| C000085 | 坂井 公俊 | 鉄道総合技術研究所 | 線状構造物群の効果的な地震対策に向けた地震・地盤・構造物特性の連続的評価 |
| C000167 | 宇田 周平 | 鉄道総合技術研究所 | 鉄道路線全体の地盤・構造物の地震時挙動特性の把握　～振動計測に基づく評価～ |
| C000186 | 小林 巧 | 国立研究開発法人土木研究所 | 非線形応答や非定常応答を照査対象とした限界状態設計法と部分係数設計法の一般化に関する基礎的研究 |
| C000332 | 後藤 源太 | 阪神高速先進技術研究所 | 既設 RC 中空断面橋脚の破壊挙動に中立軸の位置が与える影響に関する解析的検討 |
| C000598 | 五十嵐 晃 | 京都大学 | 構造物の動的応答評価における入力地震動の 3 次元位相極性の影響の分析 |

## [OS-06] 2024 年能登半島地震による地盤災害からの教訓 (2)

## [OS-06] Learned from Geotechnical damages Caused by the 2024 Noto Peninsula Earthquake (2)

2026/11/27 10:50-12:30 第 1 会場 / Room 1

座長：清田 隆（東京大学生産技術研究所）

Chair: Takashi Kiyota (The University of Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000278 | 安田 進 | 東京電機大学 | ★能登半島地震による戸建て住宅の液状化被害に対する対応 |
| C000076 | 中村 公一 | 鳥取大学 | 令和 6 年能登半島地震における道路マンホールの側方流動量とその考察―かほく市大崎～内灘町宮坂間を対象として― |
| C000137 | 坂井 響 | 長岡技術科学大学 | 近隣観測記録を用いた K-NET 穴水の地盤構造の推定 |
| C000217 | 小林 陵平 | 基礎地盤コンサルタンツ | 令和 6 年能登半島地震による新潟県内液状化発生地域での振動式コーン試験法の適用事例 |
| C000313 | 高原 利幸 | 金沢工業大学 | 宅地造成地の地震被害と震動継続時間の関係 |
| C000328 | 松浦 朱里 | 長岡技術科学大学 | 2024 年能登半島地震における内灘町で生じた液状化・流動化による地盤変状の分析 |
| C000490 | Muhammad Daffa Al Farizi | International Research Institute of Disaster Science (IRIDeS), Tohoku University | Integrated Modeling of Submarine Landslide-Induced Tsunami Using 3D Slope Stability Analysis with Peak Ground Acceleration Effects |

## [OS-03] コミュニティ断層モデルと地震災害研究の未来 (2)

## [OS-03] Community Fault Models as a Foundation for Future Earthquake Hazard Studies (2)

2026/11/27 10:50-12:30 第 2 会場 / Room 2

座長：安藤 亮輔（東京大学）

Chair: Ryosuke Ando (The University of Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000524 | 佐脇 泰典 | 立命館大学 | 陸奥湾の地震の断層面形状 |
| C000305 | 安藤 亮輔 | 東京大学 | ★動的破壊シミュレーションが示す非平面断層形状モデル整備の重要性 |
| C000537 | プリード ネルソン | 防災科学技術研究所 | マルチビームバックプロジェクション法と強震記録を用いた、2016 年 4 月 16 日に発生した熊本地震の多周波数帯における断層破壊過程の推定 |
| C000164 | 後藤 浩之 | 京都大学 | ★摩擦階層型震源モデルの非平面断層への展開 |
| C000184 | 岩城 麻子 | 防災科学技術研究所 | ★活断層を対象とした断層近傍の強震動予測・地震ハザード評価―断層面形状の違いによる影響の試算― |

## b-5 建築構造物(6)

## b-5 Building structures (6)

2026/11/27 10:50-12:30 第 3 会場 / Room 3

座長：向井 洋一（神戸大学）

Chair: Yoichi Mukai (Kobe University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000430 | 小沼 心太郎 | 東京大学 | RC 造架構の拘束および非拘束時における内蔵 URM 壁の動的面外挙動 |
| C000434 | 瀧野 敦夫 | 大阪大学 | 構造用 MDF を用いた耐力壁構面の振動台実験と解析モデルのデータ同化手法に関する研究 |
| C000444 | 川村 法靖 | 東京都立大学 | 根継ぎが施された差鴨居軸組架構の有限要素解析 |
| C000446 | MEY SOMETREY | 東京科学大学 | 鋼構造梁端接合部の低サイクル疲労性能に及ぼすスケール効果に関する実験 |
| C000447 | 生住 廉 | 明治大学 | 木質構造における鋼棒挿入接着接合部の偏心を考慮した引抜耐力に関する研究~引抜実験及び有限要素法解析~ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000453 | 石塚 淳生 | 大阪大学 | 枠梁端部せん断破壊を伴う RC ピロティ架構の解析的研究 |
| C000593 | 伊藤 嘉則 | 建材試験センター | 加速度一定領域の非線形応答変位を速度一定領域から推定する手法の RC 造建物に関する提案 |

## [OS-13] 地震工学・防災分野における分布型光ファイバー計測技術の展開 (2)

## [OS-13] Distributed Optical Fiber Sensing in Earthquake Engineering and Seismic Resilience (2)

2026/11/27 10:50-12:30 第 5 会場 / Room 5

座長：吉見 雅行（産業技術総合研究所）

Chair: Masayuki Yoshimi (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000165 | 荒木 英一郎 | 海洋研究開発機構 | ★海域地震・津波・地殻変動の広域リアルタイム把握を目指した分布型光ファイバー計測技術開発の現在と展望 |
| C000111 | 内藤 昌平 | 防災科学技術研究所 | 地中光ファイバと孔壁とのカップリングによる DAS 観測精度への影響に関する実験 |
| C000077 | 鈴木 晴彦 | 応用地質 | 光ファイバ DAS による深部地盤構造モデルの推定 |
| C000427 | 中原 恒 | 東北大学 | 宮城県中部の国道 4 号線における DAS 観測 |
| C000092 | 尾西 恭亮 | 国立研究開発法人土木研究所 | 道路盛土の耐震性評価に向けた道路管理用光ファイバを用いた地盤振動計測 |
| C000456 | ISAO KUROSAWA | ENEOS Xplora Inc | THESEUS: Physics-Informed Operator Learning for DAS Strain-to-Engineering-Motion Conversion — Zero-Shot Validation on the 2016 Kumamoto Earthquake |

## b-7 免震・制振・構造ヘルスモニタリング(6)

## b-7 Seismic Isolation, Vibration Control, and Structural Health Monitoring (6)

2026/11/27 10:50-12:30 第 6 会場 / Room 6

座長：伊山 潤（東京大学）

Chair: Jun Iyama (The University of Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000570 | 鈴木 北斗 | 明治大学 | 寺院建築における大断面柱の相互緊結による制震デバイス補強の水平加振実験～その 5　セーフティ機構の有無を比較した場合～ |
| C000588 | Zhijie Fang | Saitama University | Identification of Bending Effects in Super High-Rise Buildings using CNN Integrated with |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | Layered Timoshenko Beam model |
| C000594 | 西村 拓也 | 清水建設 | スウェイロッキングモデルを用いた免震構造の簡略応答評価手法 |
| C000607 | 早川 直希 | 名城大学 | 制振ダンパー力を受ける中高層木造柱梁接合部 L 字架構の実験的研究 |
| C000697 | 和田 大河 | 慶應義塾大学 | 超高層建物を対象とした水平 2 方向と捩れ応答を同時に低減できる初期圧縮力を与えたばねを用いた非線形エネルギーシンクの開発 |
| C000669 | RAZELLE DENNISE SORIANO | Institute of Science Tokyo | Investigation of Modal Identification Techniques for a Steel Evacuation Staircase Under Ambient Excitation |

## [OS-07] 地震災害のためのデジタルツイン

## [OS-07] Digital Twin for Earthquake Disasters

2026/11/27 10:50-12:30 第 7 会場 / Room 7

座長：本田 利器（東京大学）

Chair: Riki Honda (The University of Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000615 | 大石 哲 | 神戸大学 | 重畳災害のための防災デジタルツイン基盤の構築 |
| C000643 | 大谷 英之 | 海洋研究開発機構 | AI 抽出情報から構造物モデルを構成するための論理演算型情報統合 |
| C000639 | 松ヶ谷 明史 | 大成建設（株） | 重要構造物の地震応答解析用デジタルツインの検証手法の検討 |
| C000209 | 小野寺 周 | 鉄道総合技術研究所 | 鉄道構造物の地震被害推定の効率化に向けた情報取得の優先度評価手法 |
| C000304 | 塩井 瑛大 | 構造計画研究所 | 地盤応答問題を対象とした数値解析に対する動的モード分解（DMD）の適用と物理的解釈に関する検討 |
| C000073 | 小黒 雄介 | 阪急電鉄株式会社 | 鉄道橋りょう・高架橋群を対象とした地震災害のためのデジタルツインの開発 |
| C000381 | 葛 平蘭 | 東電設計 | 地震による堤防沈下を考慮した高潮・波浪・浸水解析：神戸市におけるケーススタディのためのモデル自動構築 |
| C000392 | 飯山 かほり | 鹿島建設株式会社 | 公開データを用いた道路橋デジタルモデルの地震時道路機能評価への活用に関する研究 |

## c-2 緊急地震速報・災害情報・リモートセンシング・リアルタイム地震防災(2)/c-4 復興・防災まちづくり

## c-2 Emergency early warning/disaster information/remote sensing/real-time earthquake disaster prevention (2) & c-4 Reconstruction and Disaster-Resilient Community Development

2026/11/27 10:50-12:30 第 8 会場 / Room 8

座長：山崎 文雄（株式会社大崎総合研究所）
Chair: Fumio Yamazaki (Ohsaki Research Institute, Inc.)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000645 | 幸山 寛和 | 名古屋大学 | 電力使用量データを用いた輪島市における能登半島地震後の生活状況の把握 |
| C000216 | 山崎 文雄 | 株式会社大崎総合研究所 | 航空レーザ計測データに基づく益城町の 2016 年熊本地震からの復興状況 |
| C000583 | 川合 温大 | 千葉大学 | 合成開口レーダ強度画像を用いた令和 6 年能登半島地震における土砂災害の検出 |
| C000334 | 桑原 優輝 | 茨城大学 | 津波発生時における都市・街区の避難安全性評価に関する基礎的研究 |
| C000366 | 髙橋 諒丞 | 北海道大学 | 持続可能な都市形成に資するまちづくり施策立案・評価支援システムの開発―時系列 3D 都市モデルを用いた災害リスク評価― |

## b-4 土木構造物(2)

## b-4 Civil engineering structures (2)

2026/11/27 10:50-12:30 第 9 会場 / Room 9

座長：井上 和真（立命館大学）
Chair: Kazuma Inoue (Ritsumeikan University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000211 | 運上 茂樹 | 東北大学シニア研究員・名誉教授（株式会社クレアテック） | 地震により被災した鉄筋コンクリート高架橋の継続使用可能性の定量評価 |
| C000297 | 竹信 正寛 | 国土技術政策総合研究所 | 破壊形態の発生特性を考慮した直杭式桟橋の耐震設計に関する一考察 |
| C000488 | 水野 雄太 | （公財）鉄道総合技術研究所 | 壁体間を面状補強材で結合したＥＰＳ盛土模型に対する振動台実験 |
| C000494 | 永井 秀樹 | 株式会社大林組 | 改良盛土形式の津波防潮堤における津波と地震の重畳に対する確率論的リスク評価 |
| C000568 | Jinhyun Kim | Konkuk University | A REVIEW OF METHODOLOGICAL DEVELOPMENTS IN IM–EDP EVALUATION |
| C000674 | 松崎 裕 | 東京科学大学 | 平均瞬間入力エネルギーによる RC 橋脚の非線形地震応答推定に関する基礎的検討 |
| C000677 | 野津 厚 | 港湾空港技術研究所 | Mylonakis の地震時土圧式を下界定理に基づく理論式とみなすことができない理由 |
| C000701 | 西 勇也 | 日本ニューロン株式会社　管路防災研究所 | 水管橋用ベローズ型伸縮可撓継手の耐震設計法 |

## [OS-17] 発災当時学生であった世代から見た熊本地震と地震工学研究の展開

## [OS-17] Perspectives on the Kumamoto Earthquake from Students at the Time of the Disaster and Its Influence on the Development of Earthquake Engineering Research

2026/11/28 09:00-10:40 第 1 会場 / Room 1

座長：四井 早紀（東京大学），小島 紘太郎（京都工芸繊維大学）

Chairs: Saki Yotsui (The University of Tokyo), Kotaro Kojima (Kyoto Institute of Technology)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000699 | 小島 紘太郎 | 京都工芸繊維大学 | ★断層近傍地震動を対象とした地震時極限外乱法および建物の被災後の使用継続に関する研究 |
| C000284 | 南部 恭広 | 熊本県立大学 | ★熊本地震を契機とした伝統構法木造建物の被害調査と耐震性能評価研究の展開 |
| C000554 | 芹川 由布子 | 福井工業高等専門学校 | ★石川県内灘町における液状化による家屋の傾斜被害に関する研究 |
| C000181 | 服部 匡洋 | 阪神高速先進技術研究所 | ★2016 年熊本地震での地震被害を踏まえた実験及び解析的検討 |
| C000567 | 四井 早紀 | 東京大学先端科学技術研究センター | ★地域住民による救助活動の実態分析―2016 年熊本地震における活動とその後の展開― |
| C000347 | 野口 雄太 | 福岡大学 | ★災害と復興がもたらす空間的不連続性と被災者の営為：熊本地震から始めた農村復興研究 |

## [OS-12] 大規模地震の被害想定を受けて地震工学者は何に取り組むべきか？

## [OS-12] What Should Earthquake Engineers Address in Light of Scenario-Based Damage Assessments for Large Earthquakes?

2026/11/28 09:00-10:40 第 2 会場 / Room 2

座長：染井 一寛（大崎総合研究所），渡井 一樹（竹中工務店），入江 さやか（松本大学）

Chairs: Kazuhiro Somei (Ohsaki Research Institute, Inc.), Kazuki Watai (Takenaka Corporation), Sayaka Irie (Matsumoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000499 | 入江 さやか | 松本大学 | ★大規模地震をめぐる被害想定を概観する |
| C000671 | 加藤 孝明 | 東京大学 | ★地震被害想定の課題と未来への問題提起 |
| C000140 | 仲野 健一 | 安藤ハザマ | ★地震動研究者は社会の受容性とどう向き合うか |
| C000257 | 渡井 一樹 | 竹中工務店 | ★免震・制振構造の普及に向けた現状と課題の整理 |
| C000419 | 中野 尊治 | 東京科学大学 | ★多分野連携に向けた被害調査の現状と課題 |
| C000617 | 皆川 佳祐 | 埼玉工業大学 | ★大規模地震を踏まえた機械分野の役割と他分野連携の展望 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000123 | 染井 一寛 | 株式会社大崎総合研究所 | ★座談会「大規模地震の被害想定を受けて地震工学者は何に取り組むべきか？」の報告と今後の展開 |

## b-5 建築構造物(7)

## b-5 Building structures (7)

2026/11/28 09:00-10:40 第 3 会場 / Room 3

座長：石原 直（東京科学大学）

Chair: Tadashi Ishihara (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000455 | 藤原 駿太 | 東京大学 | 損傷を受けた露出型柱脚ベースプレートの面外変形と微動ひずみ応答との関係 |
| C000458 | 藤田 康介 | 東京科学大学 | 金属拡張アンカーの引抜き耐力に及ぼす施工条件の影響 |
| C000468 | 久保田 紘太 | 東京科学大学 環境社会理工学院 | PC 梁部材を対象とした曲げ降伏点における剛性低下機構解明のための解析的研究 |
| C000479 | 板橋 英治 | 東京科学大学 | 地震荷重を想定した繰り返し応力を受ける集成材の力学的特性 |
| C000484 | 中野 富夫 | 日本建築総合試験所 | 断層モデルにより合成した地震動を用いた建築物の動的信頼性解析 |
| C000509 | 中村 恭也 | 京都大学 | 残留変形が木造軸組架構の振動特性に及ぼす影響の検証実験 |
| C000465 | 西本 昌 | 大成建設株式会社 | 長周期地震動のばらつきを考慮した複数地点における建築物の設計用地震動に関する検討 |

## a-3 地盤震動(1)

## a-3 Ground motion (1)

2026/11/28 09:00-10:40 第 4 会場 / Room 4

座長：永野 正行（東京理科大学）

Chair: Masayuki Nagano (Tokyo University of Science)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000021 | 張 海仲 | 山形大学 | 相関を考慮した複数地震動強度指標の統一的確率地震ハザード評価 |
| C000022 | 小嶋 啓介 | 福井大学 | 並進・回転 6 成分データの相互相関に基づく伝播方向と位相速度の推定法の検討 |
| C000093 | 杉山 佑樹 | 鉄道総合技術研究所 | ウェーブレット解析とスペクトルインバージョンに基づく時刻歴サイト特性の評価 |
| C000096 | 常田 賢一 | （一財）土木研究センター | 令和 6 年能登半島地震における鉛直地震動の考察 |
| C000152 | 佐藤 吉之 | 竹中工務店 | 地震動の P 波部水平/上下スペクトル比の逆解析による地盤 Q 値の推定精度に関する検討 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000161 | 早川 崇 | 清水建設 | 今村式 2 倍強震計とユーイング円盤記録式強震計から推定した 1923 年関東地震の東京本郷の地動の違いに関する考察 |
| C000172 | 三橋 祐太 | 構造計画研究所 | 3 次元 SEM を用いた広域な地形および地盤の速度構造が地震応答におよぼす影響検討 |

## d-1 最近の地震被害の調査・分析(1)

## d-1 Survey and Analysis of Recent Earthquake Damage (1)

2026/11/28 09:00-10:40 第 5 会場 / Room 5

座長：片岡 俊一（弘前大学）

Chair: Shunichi Kataoka (Hirosaki University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000086 | 濱田 康平 | 香川大学 | 2024 年能登半島地震で被災した輪島市稲舟地すべり地区における表面波探査および微動アレイ探査による地すべり層厚の推定 |
| C000182 | 有櫛 嘉豊 | 室蘭工業大学 | 令和 6 年能登半島地震を対象としたドローンと AI を用いた木造建物倒壊率推定 |
| C000346 | 片岡 俊一 | 弘前大学 | 2025 年 12 月 8 日に青森県東方沖で起きた地震による被害と地震動 |
| C000354 | 亀川 莉央 | 東京理科大学 | 2018 年および 2024 年台湾花蓮地震を経験した 16 階建て RC 造集合住宅の被災度区分判定と常時微動計測に基づく振動特性評価 |
| C000376 | 畑山 健 | 消防庁消防研究センター | 2024 年能登半島地震による石油タンクの内部浮き蓋の被害 |
| C000393 | 焦 禹禹 | 岐阜大学　工学部社会基盤工学科 | 2025 年ミャンマー地震の断層近傍 CCTV 映像に基づく被害発生過程の時系列分析 |
| C000397 | 境 茂樹 | 安藤ハザマ | 被災した木造天守の常時微動による振動特性 |

## a-2 地下構造

## a-2 Subsurface structure

2026/11/28 09:00-10:40 第 6 会場 / Room 6

座長：内出 崇彦（産業技術総合研究所）

Chair: Takahiko Uchide (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000117 | 木村 春里 | 東京科学大学 | 密な微動アレイ観測から Rayleigh 波減衰係数を推定する試み |
| C000171 | Chang-Guk | Korea Institute of Geoscience and | Geotechnical Characterization of Sites Vulnerable to Long-Period Ground Motion Amplification |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | Sun | Mineral Resources (KIGAM) | in the Southeastern Region of Korea |
| C000255 | 伊東 秀晃 | 東京大学 | NN サロゲートモデルを用いた効率的な 3 次元地盤構造逆解析フレームワーク |
| C000496 | 環 魁人 | 北海道大学 | カトマンズ盆地端部および周辺域における微動探査によるサイト特性の空間変動 |
| C000528 | Mehmet Safa Arslan | Erzincan Binali Yildirim University | Investigating the Basin Effect in Erzincan using Ambient Seismic Noise Tomography |
| C000360 | 山本 優 | 大成建設(株) | Wave Gradiometry 法に基づく位相速度抽出の試み |
| C000443 | 連 惇 | 大成建設株式会社 | レプリカ交換モンテカルロ法を用いた既存地下構造に基づく地下構造推定 |

## b-6 機械設備系

## b-6 Mechanical equipment

2026/11/28 09:00-10:40 第 7 会場 / Room 7

座長：湯川 正貴（大林組）

Chair: Masaki Yukawa (Obayashi Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000075 | 平野 一郎 | 大阪大学 | 接合部を含めた吊り形式の建築設備機器の耐震性能 |
| C000462 | 西 崚汰 | 国立研究開発法人　防災科学技術研究所 | 非構造部材・設備機器の相互干渉を考慮した震動台実験における全体応答特性と衝突を伴う損傷評価 |
| C000498 | 加藤 翼 | 東京大学 | 非構造部材・設備機器の相互干渉を考慮した震動台実験において空調機器の支持条件が応答に及ぼす影響解析 |
| C000519 | 崔 珠恩 | 東京大学 | 非構造部材・設備機器の相互干渉を考慮した震動台実験における天井および空調室内機の連成質点系解析 |

## b-8 耐震補強・新しい構造・材料，耐震設計法(ISO)，歴史的建造物(1)

## b-8 Seismic Retrofit, New Structures and Materials, Seismic Design Methods (ISO), Historic Structures (1)

2026/11/28 09:00-10:40 第 8 会場 / Room 8

座長：小原 拓（国土技術政策総合研究所）

Chair: Taku Obara (National Institute for Land and Infrastructure Management)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000044 | 長岡 紗那 | 高知工科大学大学院 | 梁要素によりベースプレートの面外変形を模擬した非埋込み型 CES 柱脚の静的増分解析 |
| C000074 | 水越 一晃 | 大林組 | 水平打継面の処理方法が増打補強した RC 梁の補強効果に与える影響 |
| C000083 | Jehyeon Yoo | Konkuk University | Cost-Performance Trade-off of Series-Connected Dampers for Long-Span Bridges |
| C000087 | 熊谷 祐二 | 株式会社　大林組 | 座屈拘束鉄筋を用いた壁式橋脚耐震補強構造のせん断破壊挙動に関する解析的検討 |
| C000098 | 田口 孝 | 矢作建設工業 | ヒノキ集成材を用いた座屈拘束鋼板ブレースの実大実験 |
| C000104 | 橋本 隆雄 | 国士舘大学 | 2016 年熊本地震を対象とした熊本城石垣の地盤―構造連成応答解析 |
| C000193 | 石井 晴花 | 東日本旅客鉄道株式会社 | 新幹線ラーメン高架橋における耐震性能と地震被害発生率の関係 |

## [OS-09] 危機耐性：理論構築，技術開発から実装まで

## [OS-09] Anti-Catastrophe: Theory, Development, and Implementation

2026/11/28 10:50-12:30 第 1 会場 / Room 1

座長：武田 篤史（（株）大林組）

Chair: Atsushi Takeda (Obayashi Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000082 | 大住 道生 | 国立研究開発法人　土木研究所 | 道路橋上部構造の変位を抑制する構造の要求水準に関する実験的検討 |
| C000091 | 土井 達也 | 鉄道総合技術研究所 | 盛土の地震時損傷過程に基づく冗長性に関する危機耐性評価法の一検討 |
| C000132 | 和田 一範 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 | 橋りょう・高架橋の地震時冗長性・ロバスト性に関する定量評価と技術者の定性評価の比較 |
| C000263 | 石橋 寛樹 | 日本大学 | 地震動強度の空間相関特性が橋梁を含む道路ネットワークのレジリエンスに及ぼす影響 |
| C000388 | 大越 靖広 | 株式会社　熊谷組 | 複数回の地震荷重を考慮した RC 橋脚の骨格曲線モデルの危機耐性向上の観点からの利活用 |

## [OS-15] 多様なデジタルデータを活用した構造物の耐震性能評価に向けた取り組みと展望

## [OS-15] Current research and perspectives on seismic performance evaluation of structures based on diverse digital data utilization

2026/11/28 10:50-12:30 第 2 会場 / Room 2

座長：浅井 竜也（東京大学），山下 拓三（防災科学技術研究所）

Chairs: Tatsuya Asai (The University of Tokyo), Takuzo Yamashita (National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000590 | 山下 拓三 | 防災科学技術研究所 | ★数値震動台を基盤とした構造物の耐震性評価システムの開発 |
| C000461 | 浅井 竜也 | 東京大学 | ★地震による建物の機能損失評価に向けた構造・非構造部材の BIM から FEM へのモデル変換 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | システム開発 |
| C000336 | 石澤 宰 | 東京大学 | ★BIM 導入の一歩先へ：建築情報の広域的利活用を可能にする具体的手法 |
| C000372 | 赤司 泰義 | 東京大学 | ★構造と設備の接続による地震レジリエンス評価の拡張：データ活用に基づく設計と運用の統合的方法論に向けて |
| C000665 | 鳥塚 大地 | 慶應義塾大学 | 木造建物の履歴ループ画像を用いた 2D-CNN 損傷判別器の高次モードによる損傷の判別精度を向上する学習データの作成法 |
| C000629 | 八百山 太郎 | 東京大学 | ★深層生成モデルを用いたベイズ計算技術の最前線：耐震性能評価への応用可能性 |
| C000470 | 今枝 裕貴 | 株式会社日建設計 | 解析とモニタリングを連携させた建築物のレジリエンス向上への取り組み |

## b-5 建築構造物(8)

## b-5 Building structures (8)

2026/11/28 10:50-12:30 第 3 会場 / Room 3

座長：三井 和也（東京科学大学）

Chair: Kazuya Mitsui (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000275 | 野村 周平 | 日本建築総合試験所 | 2025 年日本国際博覧会の大屋根リングの振動計測とその分析（その 1）全体架構の微動観測と振動特性 |
| C000277 | 大島 淳佑 | 東京大学 | 振動台実験によるシステム天井の局所ひずみ剛性と損傷進展の関係 |
| C000299 | 涌井 将貴 | 新潟工科大学 | 多雪地域の木造住宅を対象とした加速度計測による振動特性評価 |
| C000302 | 畑中 祐紀 | 大阪大学 | 表層地盤特性と建物の構造種別が家具の転倒挙動に及ぼす影響（子育て世帯の住居特性を考慮した分析） |
| C000311 | 西井 康真 | 大和ハウス工業 | 2 階建て鉄骨住宅における積載荷重履歴が振動特性に及ぼす影響に関する実験的研究 |
| C000337 | 水上 凌汰 | 堀江建築工学研究所 | RC 造共同住宅を対象とした制震ダンパー付き架構と RC 方立壁付き架構の耐震レジリエンス性能の検討 |
| C000338 | 孫 澤鈺 | 東京科学大学 | 軽量鉄骨乾式間仕切壁に設置された鋼製扉の層間変形に対する機能維持性能 |
| C000536 | Rizal Maulana | Institute of Science Tokyo | Simplified Model Performance based on the Building Aspect Ratio for Steel Structures |

## a-3 地盤震動(2)

## a-3 Ground motion (2)

2026/11/28 10:50-12:30 第 4 会場 / Room 4

座長：佐藤 吉之（竹中工務店）

Chair: Yoshiyuki Sato (Takenaka Corporation)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000179 | 山中 悠生 | 東京理科大学 | 海水層のモデル化と波動分離に着目した南海トラフ震源域の地震による大阪平野での地震動特性 |
| C000214 | 宮田 悠理 | 戸田建設株式会社 | 令和 6 年能登半島地震を経験した鉄骨造生産施設の常時微動測定 |
| C000218 | Hwa Sung Cheon | Seoul National University | Simulation of Far-Field Ground Motion in the Korean Peninsula for Mw 9 Nankai Trough Earthquake Scenarios |
| C000272 | 菅原 法城 | 港湾空港技術研究所 | プレート境界型地震が誘発する余震の震源分布の過去の地震間での比較 |
| C000274 | 羽場 一基 | 大成建設株式会社 | 見かけの非対称すべり分担を代表する半解析的補助項を導入した半無限弾性体地殻変動モデル |
| C000317 | 宮本 崇 | 東京科学大学 | 非線形力学系の作用素論的解析手法とニューラルネットワークの統合手法による地震波動場のデータ駆動解析 |
| C000412 | 真田 悠希 | 名古屋大学 | 高密度地震観測と常時微動計測に基づく地域の地盤震動特性の評価 |

## d-1 最近の地震被害の調査・分析(2)

## d-1 Survey and Analysis of Recent Earthquake Damage (2)

2026/11/28 10:50-12:30 第 5 会場 / Room 5

座長：向井 智久（国土技術政策総合研究所）

Chair: Tomohisa Mukai (National Institute for Land and Infrastructure Management)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000481 | 重村 采音 | 九州大学 | 道路の横断勾配を考慮した点群データの平面推定手法の検討 |
| C000483 | 白田 大弥 | 東京大学 | 令和 6 年能登半島地震を受けた RC 造学校建物を対象にした上部架構・基礎・地盤の一体解析に基づく被害分析 |
| C000514 | 藍檀 オメル | 琉球大学 | トルコ Denizli 県における２０２６年３月９日 Yenice 地震による古代都市における被害につい |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | て |
| C000602 | 大矢 陽介 | 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 | 輪島港みなとカメラの映像を用いた令和 6 年能登半島地震時の表層地盤応答の評価 |
| C000650 | 向井 智久 | 国土技術政策総合研究所 | 熊本地震で被災した RC 造建築物の被災度区分判定結果とその後の継続使用性との関係分析 |

## [OS-18] 巨大地震後の地域防災力を高めるには？－被災自治体と地域建設事業者による応急復旧の実際と課題－

## [OS-18] Advancing Local Disaster Preparedness After Mega Earthquake: Emergency Restoration Challenges for Local Governments and Contractors

2026/11/28 10:50-12:30 第 6 会場 / Room 6

座長：柿本 竜治（熊本大学）
Chair: Ryuji Kakimoto (Kumamoto University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000396 | 仲村 成貴 | 日本大学 | 令和 6 年能登半島地震における自治体と地域建設業の応急復旧対応―構造的課題と初動対応の影響分析― |
| C000057 | 柳原 純夫 | 奥村組 | 令和 6 年能登半島地震時での地域建設会社の応急対応活動に関する調査 |
| C000055 | 山本 一敏 | テクニカルリンク | 2016 年熊本地震における自治体技術職員の応急対応に関する調査と課題整理 |
| C000114 | 後藤 洋三 | | 域内の震災対応力による応急工事の施工環境に関する調査分析-‐ 就労環境，作業安全性，傷害の補償，自治体と地域建設業の協働体制 -- |
| C000508 | 杉山 隼 | 長崎大学 | 2016 年熊本地震が転出・転入人口に与えた時間的・空間的因果効果 |
| C000510 | 飯尾 和之 | 日本大学 | 大規模豪雨災害時の応急対策における平時の維持管理契約と官民連携の課題に関する一考察 |

## b-3 地盤と構造物の相互作用(1)

## b-3 Soil-structure-interaction (1)

2026/11/28 10:50-12:30 第 7 会場 / Room 7

座長：西岡 英俊（中央大学）
Chair: Hidetoshi Nishioka (Chuo University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000110 | 堤 俊介 | 清水建設株式会社 | 大規模な既存地下躯体が新設建物の直接基礎における地盤ばねと基礎入力動に与える影響 |
| C000127 | 前田 翔太 | 鉄道総合技術研究所 | 常時微動観測に基づく杭基礎ラーメン高架橋の入力損失効果の評価 ～径間数の変化，床版施工の影響～ |
| C000156 | 高畠 大輔 | 電力中央研究所 | 送電用鉄塔の杭基礎入力動に関する遠心力載荷模型実験 |
| C000160 | 的場 萌子 | 建築研究所 | 近傍に建物を有する宅地擁壁の地震時損傷メカニズムに関する解析的検討 |
| C000197 | 海老原 絢音 | 東京理科大学 | 地盤ばねの周波数依存性を考慮した 2 次元傾斜地盤に建つ RC 造建物の非線形地震応答解析 |
| C000231 | 田中 仁規 | ジェイアール東海コンサルタンツ | 入力地震動の卓越周期を考慮した応答変位法における作用の組合せ係数の提案 |
| C000450 | 大塚 悠一 | 東電設計株式会社 | スーパーコンピュータ「富岳」を用いた原子力発電所敷地内の地中構造物と周辺建屋を対象とした 3 次元地震応答解析について |
| C000459 | 清水 英 | 大和ハウス工業 | 地盤との動的相互作用効果を考慮した基礎固定系建物の減衰モデルおよび減衰定数の妥当性に関する研究－建物の固有周期に対する観測記録から得られる減衰定数の傾向－ |

## b-8 耐震補強・新しい構造・材料，耐震設計法(ISO)，歴史的建造物(2)

## b-8 Seismic Retrofit, New Structures and Materials, Seismic Design Methods (ISO), Historic Structures (2)

2026/11/28 10:50-12:30 第 8 会場 / Room 8

座長：鍋島 国彦（神戸大学）

Chair: Kunihiko Nabeshima (Kobe University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000201 | 小原 拓 | 国土技術政策総合研究所 | 建設用 3D プリント型枠を活用した鉄筋コンクリート造耐力壁の構造性能評価に関する取組み |
| C000236 | 西脇 優太 | 静岡理工科大学 | 超軽量素材を用いた新組積造壁の耐震性能評価 |
| C000242 | Sadida Nur Fatimah | Shizuoka Institute of Science and Technology | Seismic Performance Evaluation of Assembled Wall Panels Utilizing Interlocking Low-Quality Timber Units |
| C000298 | 月岡 鈴華 | 大林組 | 既存 RC 梁のリユースを目的とした包含型 RC 合成梁の曲げせん断実験 |
| C000326 | 前田 怜美 | 大阪大学 | CLT 方立壁を内蔵する RC 架構の数値解析と梁応力評価 |
| C000329 | 久末 賢一 | 株式会社大林組 | 両端に定着体を有する PC 鋼棒によるあと施工せん断補強工法のせん断伝達機構に関する一考察 |
| C000374 | 花里 利一 | 神奈川大学 | 歴史的木骨石造建造物の動的挙動に関する観測と解析 |

## b-1 地中構造物・ダム・土構造物(1)

## b-1 Underground structures, dams, and soil structures (1)

2026/11/28 10:50-12:30 第 9 会場 / Room 9

座長：谷山 尚（埼玉大学）

Chair: Hisashi Taniyama (Saitama University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000049 | 伊吹 竜一 | 鉄道総合技術研究所 | 遠心模型実験による液状化地盤上の盛土補強土擁壁の地震時変状メカニズムの把握と対策工の検討 |
| C000095 | HYUK-KEE HONG | Kansai University | Finite element analysis of countermeasures against liquefaction-induced pipe uplift: countermeasure mechanisms and analytical applicability |
| C000205 | 今田 耕太郎 | 東京ガス株式会社 | 三次元非線形有限要素解析を用いた複数地震動による埋設管の応答評価 |
| C000371 | 粕谷 悠人 | 中央大学大学院 | 土留め壁を本体利用した半地下構造物のせん断変形挙動に関する模型振動実験 |
| C000530 | 竹中 一真 | 京都大学 | Space-Time 有限要素法を用いた弾塑性動的解析における時間補間次数と数値解精度の関係 |

## [OS-08] 地震動モデルの構築と利活用の新展開 (1)

## [OS-08] New Developments in the Construction and Application of Ground Motion Models (1)

2026/11/28 14:10-15:50 第 1 会場 / Room 1

座長：糸井 達也（東京大学）

Chair: Tatsuya Itoi (The University of Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000432 | 森川 信之 | 防災科学技術研究所 | 地震動予測モデルのための強震動情報共通基盤の構築 |
| C000227 | 岩城 麻子 | 防災科学技術研究所 | 強震動データプラットフォームの開発と地震動予測モデル構築への活用 |
| C000210 | 松井 貴宏 | 清水建設株式会社 | 地震動のフーリエ位相を対象とした深層生成モデルの検討 |
| C000314 | 松本 雄馬 | 防災科学技術研究所 | フーリエ振幅スペクトルの地震動モデル構築に関する検討 |
| C000616 | 河原 宏紀 | 関西大学 | 地震動加速度の確率分布に対する理論的推定の試み |
| C000380 | 谷内 孝誠 | 清水建設 | 地震動時刻歴生成モデルにおける損失関数の設計が生成波形に与える影響 |
| C000026 | 吉村 昌宏 | 損害保険料率算出機構 | 複数モデルを組合せた全国の地震動ハザード評価に関する基礎検討（その 1）地震動予測モデ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | ルの検討 |
| C000680 | 林 孝幸 | 東京海上ディーアール株式会社 | 地震リスク評価のための物理ベース・AI ハイブリッドの地震動予測モデルの開発に向けた基礎的検討 |

## a-1 震源特性(1)

## a-1 Source characteristics (1)

2026/11/28 14:10-15:50 第 2 会場 / Room 2

座長：芝崎 文一郎（国立研究開発法人建築研究所）

Chair: Bunichiro Shibazaki (Building Research Institute)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000052 | 中尾 魁 | 東京大学 | 詳細な三次元地下構造を考慮した震源断層モデルの非線形ベイズ推定 |
| C000103 | 前原 博 | 地球システム総合研究所 | 地震鉛直衝撃波の調査研究と安全対策の必要性 |
| C000121 | 小山 龍二 | 東京電力ホールディングス（株） | 2008 年岩手・宮城内陸地震で観測された大加速度記録再現のための特性化震源モデルの構築 |
| C000122 | 岩井 徹 | 東京電力ホールディングス（株） | ブロックインバージョンに基づく 2008 年岩手・宮城内陸地震の震源特性の推定と残差の検討 |
| C000134 | 貴堂 峻至 | (株)大崎総合研究所 | 理論計算に基づく 2016 年熊本地震の特性化震源モデルを用いた波形合成法による短周期成分の再現性 |
| C000129 | 本田 栞 | 竹中工務店 | 数値シミュレーションに基づく断層近傍パルス性地震動の特性化と領域区分に関する検討 |
| C000032 | 加藤 研一 | 鹿島建設 | ロジスティック回帰モデルに基づく断層タイプ別の地表地震断層出現率 －日本および世界で発生した内陸地殻内地震に対する検討－ |

## b-5 建築構造物(9)

## b-5 Building structures (9)

2026/11/28 14:10-15:50 第 3 会場 / Room 3

座長：調整中

Chair: To be determined

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000363 | 西脇 洸瑠 | 東京理科大学 | 合理的な節形状を有する接着系あと施工アンカーの性能検証に関する実験的研究 |
| C000373 | 梶原 僚太 | 株式会社 NTT ファシリティーズ | 令和 6 年能登半島地震の強震観測記録を用いた金沢市内の鋼構造建物の振動特性に関する検討 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000379 | 宇田 啓志 | 竹中工務店 | RC 造 L 形柱梁接合部に機械式定着された柱主筋の定着耐力評価法の提案 |
| C000389 | 本村 一成 | 九州電力株式会社 | 地殻内で発生する横ずれ断層地震の指向性パルスに対する鉄筋コンクリート造建物の必要耐力推定手法 |
| C000390 | Mustafa Mert EYUPGILLER | National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience | Validation of E-Simulator for Dynamic Analysis of Reinforced Concrete Structures via Full-Scale Shaking Table Tests |
| C000592 | 石原 直 | 東京科学大学 | 立面混構造建物を想定した模型による地震時浮き上がり挙動に関する実験 |
| C000378 | 小川 春彦 | ミサワホーム総合研究所 | 木質接着複合パネルを複層して構成した超高耐力耐力壁構面のせん断挙動に関する研究その 1 開口を有する耐力壁構面の水平加力実験 |
| C000449 | 森瀬 陽平 | 明治大学 | 木質接着複合パネルを複層して構成した超高耐力耐力壁構面のせん断挙動に関する研究その 2 開口を有する耐力壁構面の応力計算手法に関する検証 |

## a-3 地盤震動(3)

## a-3 Ground motion (3)

2026/11/28 14:10-15:50 第 4 会場 / Room 4

座長：津野 靖士（東京科学大学）

Chair: Yasushi Tsuno (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000518 | 渡嘉敷 直彦 | 琉球大学 | 新加速度・傾斜計の開発と沖縄本島における観測網の構築　ー記録地震の観測結果ー |
| C000532 | 山中 浩明 | 東京科学大学 | ペルー・リマ地域における深部地盤構造での増幅特性のための長周期地震動の分析 |
| C000585 | 吉本 圭吾 | 東京科学大学 | Physics Informed Neural Networks の 2 次元地震波伝搬問題への適用における Fourier Feature Mapping と適応型重みづけの効果 |
| C000601 | 西川 隼人 | 福井工業大学 | S 波速度構造と震源スペクトルのパラメータによる地盤増幅度評価式の検討 |
| C000658 | 干場 充之 | 気象研究所 | 同地点に設置された加速度計と速度計の比較による波形異常のリアルタイム検出：地震動即時予測への応用 |
| C000698 | 梅田 尚子 | 竹中工務店 | 地盤モデルの Q 値と長周期成分の Q 値との関係性に関する検討 |

## [OS-10] マルチハザードに対するインフラ・ライフライン施設のレジリエンス (1)

## [OS-10] Resilience of infrastructure and lifeline facilities against multi-hazards (1)

2026/11/28 14:10-15:50 第 5 会場 / Room 5

座長：朱牟田 善治（神奈川大学）
Chair: Yoshiharu Shumuta (Kanagawa University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000224 | 片岡 正次郎 | 土木研究所 | ★令和 6 年能登半島地震・奥能登豪雨に見る道路のマルチハザード対策の可能性 |
| C000089 | 宮島 昌克 | ライフライン防災総研 | ★2024 年能登半島地震と豪雨のマルチハザードに対する水道施設のレジリエンス |
| C000287 | 二瓶 泰雄 | 東京理科大学 | ★地震動・豪雨に起因するマルチハザード研究の取り組み |
| C000244 | 四宮 卓夫 | 東日本旅客鉄道(株) | ★鉄道における地震時の対応 - 運転規制と早期警報技術の進展 |
| C000221 | 宮腰 寛之 | 東日本旅客鉄道株式会社 | 鉄道沿線地震計と社外高密度地震観測網による SI 値分布に基づく列車移動可否判定 |
| C000142 | 佐々木 理 | NTT 東日本株式会社 | ★分布型光ファイバセンシングによる振動応答を用いた地中空洞検知と地盤変状把握への展開可能性 |

## d-2 強震観測システムと利活用・構造ヘルスモニタリング(1)

## d-2 Strong-Motion Monitoring Systems, Practical Applications, and Structural Health Monitoring (1)

2026/11/28 14:10-15:50 第 6 会場 / Room 6

座長：鹿嶋 俊英（国立研究開発法人建築研究所）
Chair: Toshihide Kashima (Building Research Institute)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000038 | 鹿嶋 俊英 | 国立研究開発法人建築研究所 | 八戸市庁舎の強震観測 |
| C000112 | 別所 和真 | 高知工科大学大学院　建築・都市デザインコース | 5 階建て RC 造純ラーメンにおける加速度センサを用いた地震時卓越周期の推移 |
| C000147 | 山川 光稀 | 原子力規制庁 | 多点の地震観測記録に基づく原子炉建屋の振動特性の分析 |
| C000163 | 茂木 涼星 | 東京理科大学 | 付加構造を有する超高層 RC 造建物の複数地震における強震記録の再現解析およびねじれ応答特性の評価 |
| C000168 | 岡田 敬一 | 清水建設 | 長期観測データを用いた高層鉄骨造建物の振動特性評価 |
| C000422 | 蛭田 智也 | 東京科学大学 | 次世代家庭用ガスメーターによる RC 中低層建物の損傷層の推定手法の精度検証 |

## b-3 地盤と構造物の相互作用(2)

## b-3 Soil-structure-interaction (2)

2026/11/28 14:10-15:50 第 7 会場 / Room 7

座長：和田 一範（鉄道総合技術研究所）
Chair: Kazunori Wada (Railway Technical Research Institute)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000233 | Angelica Biscaro Gilo | Kongju National University | Seismic Effect on a 15MW Offshore Wind Jacket Supported by Suction Bucket Foundations under Operational Condition using Numerical Analysis |
| C000303 | 森川 淳 | 小堀鐸二研究所 | 遠心振動台実験の FEM シミュレーションにおける要素次数の影響 |
| C000423 | 中原 祐介 | 東海旅客鉄道 | 地盤・構造物の固有周期の関係がパイルベント高架橋の地震時応答に与える影響 |
| C000428 | 白河部 匠 | 株式会社大林組 | 側方地盤が有限な条件での建屋の埋込効果に関する研究（その３：再現解析） |
| C000473 | 池田 賢 | 株式会社小堀鐸二研究所 | 遠心振動台実験の FEM シミュレーションにおける埋め込みを有する建物の水平抵抗特性 |
| C000493 | 島村 好慶 | 中央大学大学院 | 建築物と一体化した開削トンネルの地震時相互作用力評価-振動実験と傾斜実験による検討- |
| C000546 | 金丸 佑樹 | 日本ニューロン株式会社　管路防災研究所 | 特殊伸縮管を用いた更新管路の耐震化対策工法 |

## b-8 耐震補強・新しい構造・材料，耐震設計法(ISO)，歴史的建造物(3)

## b-8 Seismic Retrofit, New Structures and Materials, Seismic Design Methods (ISO), Historic Structures (3)

2026/11/28 14:10-15:50 第 8 会場 / Room 8

座長：宮津 裕次（東京理科大学）
Chair: Yuji Miyazu (Tokyo University of Science)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000341 | 須田 達 | 金沢工業大学 | 石川県白峰における重要文化財旧山岸家住宅の耐震性能と板壁補強 |
| C000342 | 岸 諒太朗 | 大阪大学 | CLT 壁を内蔵する連層 RC 架構実験のシミュレーション解析 |
| C000580 | 向井 洋一 | 神戸大学 | カトマンズ盆地の歴史的都市内のネパール地震被災地における再建補強煉瓦造住宅建築の振動特性に関する研究 |
| C000595 | 西川 英佑 | 関西大学 | 縮小模型を用いた振動実験に基づく回廊の耐震性能に関する研究 |
| C000604 | 森 瑛 | 株式会社高速道路総合技術研究所 | 複数の解析手法による既設盛土における耐震対策工の効果分析 |
| C000335 | 山﨑 隆朗 | 株式会社安藤・間 | 塑性ヒンジ領域の靭性補強に用いる楔形定着体を配置した機械式定着鉄筋の開発 |
| C000359 | 大塚 輝一 | 東京理科大学 | 鉄筋コンクリート構造部材の損傷と修復時間評価のための研究―構造実験結果を用いた損傷・修復性評価のためのデータベース構築― |

## b-1 地中構造物・ダム・土構造物(2)

## b-1 Underground structures, dams, and soil structures (2)

2026/11/28 14:10-15:50 第 9 会場 / Room 9

座長：脇中 康太（熊本高等専門学校）

Chair: Kota Wakinaka (National Institute of Technology, Kumamoto College)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000482 | 谷山 尚 | 埼玉大学 | 正断層変位を受ける埋設管の変形 |
| C000621 | 本多 修造 | 早稲田大学 | 盛土の基礎地盤液状化挙動の実験的研究 |
| C000625 | 鍬田 泰子 | 神戸大学 | 分布型光ファイバひずみ計測による断層変位時の埋設管ひずみの可視化 |
| C000555 | 小森 慎太郎 | 金沢大学 | 特別史跡熊本城跡石垣の耐震補強法に関する実験的研究 |
| C000556 | 羽田 浩二 | 微動の会 | 鹿野川ダムの常時微動観測を用いた振動モードの推定 |

## [OS-08] 地震動モデルの構築と利活用の新展開 (2)

## [OS-08] New Developments in the Construction and Application of Ground Motion Models (2)

2026/11/28 16:00-17:40 第 1 会場 / Room 1

座長：森川 信之（防災科学技術研究所）

Chair: Nobuyuki Morikawa (National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000316 | 引間 和人 | 東京電力ホールディングス(株) | 大地震での気象庁マグニチュードの飽和を考慮したモーメントマグニチュードとの関係式 |
| C000318 | 倉田 悠暉 | 構造計画研究所 | 地震動予測式における太平洋プレートの影響の検討ーマントル厚さの導入ー |
| C000544 | 津田 健一 | 清水建設株式会社 | 南海トラフ巨大地震による近地長周期地震動の特性 |
| C000587 | 司 宏俊 | 株式会社サイスモ・リサーチ | 最新の地震動データベースに基づく地震動特性に関する予備的検討 |
| C000414 | 元木 健太郎 | 小堀鐸二研究所 | ピークの長周期化と増幅率の減少を考慮した強震時における地震動予測モデルのサイト項のモデル化 |
| C000466 | 三浦 弘之 | 広島大学 | 微動データと深層学習を活用した地震動モデル構築に関する検討 |
| C000069 | 内山 泰生 | 大成建設 | 強震動データフラットファイルを用いた内陸地殻内地震の地震動予測モデル |
| C000243 | 友澤 裕介 | 鹿島建設技術研究所 | 観測データとシミュレーションデータを融合したデータベースから構築したプレート間地震の |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | 地震動予測モデル |

## a-1 震源特性(2)

## a-1 Source characteristics (2)

2026/11/28 16:00-17:40 第 2 会場 / Room 2

座長：宮腰 淳一（大崎総合研究所）

Chair: Jun'ichi Miyakoshi (Ohsaki Research Institute, Inc.)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000063 | 小林 広明 | 小堀鐸二研究所 | メキシコ地域の M7 級のプレート境界地震の強震動生成域：2012 年 Ometepec 地震（Mw 7.5）と 2018 年 Pinotepa 地震（Mw 7.2） |
| C000222 | 山根 温紀 | 兵庫県立大学 | 日本列島における気象庁マグニチュードとモーメントマグニチュードの差をもたらす要因の検討 |
| C000331 | 時実 良典 | 応用地質株式会社 | 分布の同時性を考慮した広域リスク評価のための地震動生成手法 |
| C000448 | 芝崎 文一郎 | 建築研究所 | 南海トラフ巨大地震の設定手法の高度化 |
| C000531 | 柴田 律也 | 国立研究開発法人防災科学技術研究所 | 海陸の強震記録と津波波源データのジョイントインバージョンによる 2016 年 Mw7.1 福島県沖の地震の震源過程 |
| C000553 | 纐纈 一起 | 東京大学 | 震源断層近傍における地震動パルスのユビキタス性 |

## b-5 建築構造物(10)

## b-5 Building structures (10)

2026/11/28 16:00-17:40 第 3 会場 / Room 3

座長：調整中

Chair: To be determined

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000611 | 羽岡 美紀 | 京都大学 | 連層耐震壁とピロティ架構を床スラブで連結した RC 立体架構試験体の三次元有限要素解析 |
| C000623 | 田中 颯人 | 大阪大学 | せん断補強筋強度および中子筋フック形状が RC 基礎梁のせん断耐力に及ぼす影響 |
| C000634 | 竹谷 公花 | 大阪大学 | 梁主筋を直線状に機械式定着した L 形柱梁接合部のコーン状破壊の抑制方法に関する実験的検討 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000654 | Lalith Maddegedara | Earthquake Research Inst., The Univ. of Tokyo | DEVELOPMENT AND VALIDATION OF A NONLINEAR FEM CODE FOR SIMULATING MASONRY BUILDINGS |
| C000675 | 宍戸 偉月 | 東京科学大学 | 面内損傷を受けた竹補強付き組積造充填壁の面外性能に関する実験的評価 |
| C000589 | 山田 諒 | 京都大学 | 水平 2 方向地震力を受ける鉄筋コンクリート造建物の 1 階隅柱の変動軸力に関する 3 次元有限要素解析を用いた検討 |
| C000540 | 竹内 章博 | 西松建設 | CLT をあらわしで用いた中大規模木造用制振壁の解析モデルに関する研究 |

## d-5 機械学習・IoT・DX

## d-5 Machine learning/IoT/DX

2026/11/28 16:00-17:40 第 4 会場 / Room 4

座長：宮本 崇（東京科学大学）

Chair: Takashi Miyamoto (Institute of Science Tokyo)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000130 | 月岡 桂吾 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 | 機械学習モデルによる地震動指標値の空間補間における特徴量エンジニアリングの有効性検討 |
| C000247 | 吉田 智哉 | 埼玉大学 | 3D-To-2D AI を用いた橋脚地震損傷判定手法の提案 |
| C000260 | 林 あかり | 大阪公立大学 | 空中写真と畳み込みニューラルネットワークを用いた建物構造種別の広域自動分類 |
| C000353 | 金子 晃 | 福岡大学大学院 | CNN による液状化被害判読に向けた噴砂自動判読におけるデータ拡張効果とモデル性能の比較 |
| C000386 | 森 伸一郎 | 株式会社 MORI 研究所 | 地震後初動調査支援に向けた専門家知に基づくバーティカル AI の試作と性能比較 |
| C000471 | 宇野 州彦 | 五洋建設 | 鉄筋腐食を有する桟橋の人工知能を用いた残存性能評価に関する研究 |

## [OS-10] マルチハザードに対するインフラ・ライフライン施設のレジリエンス (2)

## [OS-10] Resilience of infrastructure and lifeline facilities against multi-hazards (2)

2026/11/28 16:00-17:40 第 5 会場 / Room 5

座長：庄司 学（筑波大学），小野 祐輔（鳥取大学）

Chairs: Gaku Shoji (University of Tsukuba), Yusuke Ono (Tottori University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000289 | 秋山 充良 | 早稲田大学 | マルチハザード下におけるインフラ・ライフライン施設のライフサイクルレジリエンス |
| C000478 | 小南 雄暉 | 筑波大学 | 地震や洪水などのマルチハザードを対象としたインフラレジリエンスデザイン |
| C000324 | 諸井 優太 | 東京ガスネットワーク株式会社 | ガス架管橋梁を対象とした震後レジリエンスの向上に資する耐震性評価手法の開発 |
| C000367 | 能島 暢呂 | 岐阜大学 | ★断水被害・復旧シミュレーションによる復旧遅延要因の分析 |
| C000169 | 松本 俊明 | 株式会社篠塚研究所 | 一次変電所より受電する拠点施設の電力可用性の観点からみた地震レジリエンスの評価 |
| C000469 | 朱牟田 善治 | 神奈川大学&電力中央研究所 | 地震災害時の停電復旧過程における指数モデルｂ値の時系列特性―能登半島地震・熊本地震・台風事例の比較に基づく復旧レジリエンス評価― |

## d-2 強震観測システムと利活用・構造ヘルスモニタリング(2)

## d-2 Strong-Motion Monitoring Systems, Practical Applications, and Structural Health Monitoring (2)

2026/11/28 16:00-17:40 第 6 会場 / Room 6

座長：大野 晋（東北大学）

Chair: Susumu Ohno (Tohoku University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000429 | 佐藤 匠 | 飛島建設 | 必要最小限の地震計を用いた構造指標による建物被災度評価手法の提案 |
| C000523 | 古賀 優志 | 東京理科大学 | 2024 年台湾花蓮地震で被災したコの字型平面を有する高層 RC 造建物の振動特性評価　―常時微動計測および人力加振実験に基づく検討ー |
| C000533 | 萩原 宙 | 東京科学大学 | 複数の地震記録に基づく実建物非構造部材の位相差による振動性状の分析 |
| C000552 | 野上 雄太 | ＤＳＥＣ合同会社 | 地震観測記録を活用した鉄道橋りょう・高架橋の即時被害推定の精度向上 |
| C000463 | 大野 晋 | 東北大学 | 部分空間法による東北地方中低層建物の振動特性の変動評価 |

## b-8 耐震補強・新しい構造・材料，耐震設計法(ISO)，歴史的建造物(4)

## b-8 Seismic Retrofit, New Structures and Materials, Seismic Design Methods (ISO), Historic Structures (4)

2026/11/28 16:00-17:40 第 8 会場 / Room 8

座長：中溝 大機（早稲田大学）

Chair: Daiki Nakamizo (Waseda University)

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000395 | 滿留 莉璃 | 東京理科大学 | セメントを使用しない環境配慮型コンクリートを用いた梁試験体の構造性能評価 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000441 | 遠藤 広也 | 東京理科大学 | ジオポリマーおよび鉄筋を用いた部材の構造性能評価 |
| C000467 | 安西 里織 | 明治大学 | 浄土宗西念寺聖徳太子御堂における耐震診断及び耐震改修に関する研究 |
| C000512 | 大和 征良 | 小山工業高等専門学校 | 高温時における接着系あと施工アンカーの付着強度と付着破壊性状に及ぼす鉄筋表面形状の影響に関する実験的研究 |
| C000563 | 久保木 貴一 | 神戸大学 | アウターフレーム補強を有する木造古民家を想定したＥ－ディフェンス実験の再現解析に基づく耐震性能評価 |
| C000019 | 古田 智基 | 愛知淑徳大学 | 硬質ウレタンフォームを吹き付けた損傷木造耐力壁の耐震性能回復に関する研究 |

## ポスターセッション(1)・コアタイム

### Poster session (1) core time

2026/11/26 13:20-14:10 ポスターセッション会場 / Poster Session Hall

掲示時間 10:30–17:30

Posting hours: 10:30–17:30

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000120 | 地元 孝輔 | 香川大学 | 自己相関関数とレシーバー関数の同時解析による関東平野の地震基盤深度の推定 |
| C000135 | 田中 裕人 | 構造計画研究所 | 不整形地盤を対象とした 1 次元地盤モデルによる基盤波推定の適用性 |
| C000196 | 吉見 雅行 | 産業技術総合研究所地質調査総合センター | 佐賀平野における微動アレイ・単点微動観測 |
| C000356 | 今野 圭 | 工学院大学大学院 | 統計的グリーン関数法における半無限平行成層地盤の理論グリーン関数の適用　（その４） 岩手県沖の海溝型地震への適用と深部地下構造への層別 Q 値の影響 |
| C000361 | 佐藤 文香 | 福井大学 | 微動アレイ探査より求められる位相速度とピーク周波数を用いた能登半島における地下構造の推定 |
| C000439 | 原田 愛里 | 工学院大学大学院 | 統計的グリーン関数法における半無限平行成層地盤の理論グリーン関数の適用（その３）岩手県沖の地殻内地震への適用 |
| C000464 | 早川 威 | 工学院大学 | 統計的グリーン関数法における半無限平行成層地盤の理論グリーン関数の適用　（その２） 2019 年山形県沖地震の余震（Mj4.0）の短周期強震動への適用 |
| C000404 | 岡田 佳久 | 東京都水道局 | 変位一定則とエネルギー一定則の調和に関する検討 |
| C000659 | 劉 ウェン | 千葉大学 | 生成 AI による疑似災害前 SAR 画像を用いた土砂災害検出 |
| C000280 | 柴山 明寛 | 東北大学 | 地震災害時における燃料電池車等を用いた避難所の環境改善に関する研究 |
| C000426 | 水井 良暢 | 防災科学技術研究所 | 被災状況の異なる地域における福祉事業所の事業継続事例調査 －東北地方太平洋沿岸と奥能登地域の事例－ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000648 | 鈴木 聡平 | 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻 | 被災事業所の早期復旧に向けた臨時的な人件費支出の決定要因分析―令和 6 年能登半島地震を対象としたアンケート調査に基づく実証研究― |
| C000070 | 金田 一広 | 千葉工業大学 | MPS 法に液状化解析機能を追加した手法の適用に関する考察 |
| C000204 | 金森 大晟 | 京都大学 | 水位変化および地震の複合的な影響を受ける貯水池斜面の応答メカニズムに関する研究 |
| C000445 | 迫田 由華 | (国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 | 既設護岸の地震時変位が空港基本施設に与える影響に関する模型振動実験 |
| C000630 | 岑 綾音 | 山口大学 | 礫を格子状配置した砂地盤の液状化特性及び実地盤を想定した地震応答解析 |
| C000565 | 中澤 博志 | 静岡理工科大学 | 物理探査による液状化可能性評価に関する検討 |
| C000678 | 浅見 健斗 | 京都大学 | 水平 2 方向入力地震動の回転成分が飽和砂地盤の非線形地震応答に及ぼす影響 |
| C000391 | 水田 敏彦 | 秋田大学 | 1896 年以降に秋田県に被害を及ぼした地震による人的被害とその背景 |
| C000195 | 鴨下 直登 | 竹中工務店 | 3 次元流体解析に基づく免震建物に作用する津波荷重低減対策に関する研究 |
| C000431 | 中井 春香 | ナカシャクリエイテブ株式会社 | １９４３年鳥取地震における全潰家屋数と死者数の関係の一考察 |
| C000016 | 山田 耕司 | 豊田工業高等専門学校 | 強震動による木造住宅の最大変位応答 2000 年の耐震基準を基準とした場合 |
| C000141 | 蘆野 馨 | 工学院大学 | 柱傾斜復元力に関する減衰メカニズム解明のための反発試験 |
| C000190 | 汐満 将史 | 山形大学 | 品確法に基づく各耐震等級の建物が全壊する地震動に関する研究 |
| C000199 | 波田 雅也 | 青木あすなろ建設 | 中鋼管降伏型の折返しブレースの構造特性に関する研究 |
| C000308 | 大串 来華 | 愛知淑徳大学 | アスペクト比の異なる土塗り小壁付き木造軸組の復元力算定方法に関する実験的研究 |
| C000349 | 年縄 巧 | 明星大学 | 2011 年東北地方太平洋沖地震の際の超高層建築物の振動特性の変化 |
| C000051 | 藤本 利昭 | 日本大学 | 超高層建築物の構造計画と構造性能の変容に関する研究 |
| C000106 | 齋田 淳 | 株式会社システムアンドデータリサーチ | CERS 法による RC 造オフィスビルの構造物特性の連続監視 |
| C000620 | 飛田 哲男 | 関西大学 | HVSR を用いた深層学習による地盤構造推定 |
| C000564 | 下村 修一 | 日本大学生産工学部 | 水平地盤反力係数及び塑性水平地盤反力度のばらつきが杭応力評価に及ぼす影響 |
| C000651 | 國武 剛毅 | 日本大学大学院 | 杭径の違いが杭頭水平加力時の地盤抵抗範囲に及ぼす影響に関する画像解析に基づく検討 |
| C000109 | 党 紀 | 埼玉大学 | 3 次元点群計測と差分解析による鋼製橋脚局部座屈損傷の評価手法の検討 |
| C000705 | 志賀 正崇 | 東京都立大学 | 2026 年熊本地震において熊本県南部で観測された強震動と微動アレイ探査による地盤構造 |
| C000706 | 脇中 康太 | 熊本高等専門学校 | 令和 8 年熊本地震における球磨川堤防の被害分析と既往の被害予測手法の適用性の検討 |
| C000708 | 毎田 悠承 | 東京大学 | 2026 年熊本地震における建物被害の概要 |
| C000707 | 山口 亮 | 損害保険料率算出機構 | 人工衛星の合成開口レーダ画像のコヒーレンス変化と令和 8 年熊本地震の被害との対応関係 |
| C000709 | 郭 雨佳 | (株)大崎総合研究所 | 令和 8 年熊本地震 (Mj 7.1) の震源過程解析に基づく地震動パルス・地表変位に関する考察 |
| C000710 | 津野 靖士 | 東京科学大学 | 宇城市豊野町における令和 8 年熊本地震の稠密臨時強震観測調査 |
| C000712 | 能島 暢呂 | 岐阜大学 | ドライブレコーダー映像を用いた爆轟とジェロ現象の映像分析 |
| C000714 | 焦 禹禹 | 岐阜大学 | 2026 年熊本地震における地表地震断層の変位過程に関する映像解析 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000715 | 太田 良巳 | 原子力規制庁 | 令和 8 年熊本地震で計測された加速度記録を用いた断層近傍における地表面の動的変位応答および永久ひずみの推定 |
| C000726 | 上田 知弥 | 京都大学大学院工学研究科 | 令和 8 年熊本地震における球磨川渡河橋梁の被害と解析に基づく一考察 |
| C000711 | 鈴木 海渡 | 大成建設株式会社 | 令和 8 年熊本地震における島原半島周辺で観測された表面波伝播特性 |

## ポスターセッション(2)・コアタイム

### Poster session (2) core time

2026/11/27 12:50-13:40 ポスターセッション会場 / Poster Session Hall

掲示時間 10:00–17:00

Posting hours: 10:00–17:00

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|
| C000442 | 扇谷 匠己 | 日本大学理工学部海洋建築工学科 | 1 台の加速度計による建物の損傷評価が可能な構造モニタリングシステムに関する研究 |
| C000539 | 毎田 悠承 | 東京大学 | 梁端に貫通孔を有する損傷集中領域制御型 RC 梁の有限要素解析 |
| C000542 | 小林 正実 | 岡山理科大学 | 斜め打ちした長ビスによる木質構造接合部における P－Δ 効果の影響 |
| C000610 | 八代 椋介 | 名城大学 | CLT ロッキング壁柱を有する L 字型架構の力学的挙動と健全性評価 |
| C000622 | 内野 倫太郎 | 東京都立大学 | ピロティ構造の内部空間に作用する津波波圧に関する研究 |
| C000631 | 岩崎 凌 | 新潟大学 | 鉄筋コンクリート建物に対する塑性化の時間的進展を考慮した破壊力指標 |
| C000155 | 鍔本 優希 | 京都大学 | スペクトル要素法および高次までの振動特性を用いた橋梁ケーブルの損傷同定 |
| C000185 | 下村 将之 | 青木あすなろ建設 | 橋梁の損傷制御を目的とした横変位摩擦ダンパーの性能確認実験 |
| C000225 | 奥野 陸人 | 青木あすなろ建設 | 折返しプレート式座屈拘束ブレースの構造特性に関する実験的研究 |
| C000351 | 内藤 正宗 | 明治大学 | 4 秒以上の卓越周期を有する設計用長周期地震動に対する応答スペクトルの減衰補正 |
| C000352 | 中尾 康太郎 | 近畿大学 | エネルギーの釣合に基づく免震建物の擁壁衝突応答の予測および制御 |
| C000394 | 犬伏 徹志 | 近畿大学 | 動滑車とコイルばねを用いた免震部材の動的性能評価 |
| C000399 | 唐澤 侑太 | 日本大学大学院　理工学研究科<br>博士前期課程　海洋建築工学専攻 | 多層木造建物に適用した次世代制震構造システムに関する研究 |
| C000401 | 小出 裕輝乃 | 日本大学大学院 理工学研究科 海洋建築工学専攻 | 地震動を受ける滑り基礎構造建物の応答性状に関する研究 |
| C000402 | 塩見 義弘 | 日本大学理工学研究科博士前期課程海洋建築工学専攻 | 間柱型ダンパーによる制震構造建物の設計法に関する研究 |
| C000541 | 正月 俊行 | 構造計画研究所 | 建物モニタリングにおける観測記録と数値シミュレーションの統合に基づく全層応答推定 |
| C000685 | 松田 和浩 | 名城大学 | 自動車用シートベルト機構を用いた木質制振壁の開発 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000271 | 中川 博人 | 建築研究所 | 振動台実験に対する画像解析から求めた砂地盤の応力－ひずみ関係 |
| C000559 | 野村 昌子 | 一般社団法人データクレイドル | 防災における生活者の行動変容を促す能動的な欲求の研究と実践の考察 |
| C000660 | 角田 優斗 | 山口大学 | 動的解析を用いた避難所における健康リスクアセスメントに関する研究 |
| C000614 | 井上 雅志 | 株式会社エイト日本技術開発 | 2023 年トルコ・シリア地震後の産業集積地に対する BCP アンケート調査と被害実態との関係分析 |
| C000452 | 中村 洋光 | 防災科学技術研究所 | 鬼怒川沿いにおける制御震源を用いた深井戸および地表光ファイバ DAS 観測実験 |
| C000716 | 先名 重樹 | 防災科学技術研究所 | 令和 8 年熊本地震における液状化地点分布と特徴 |
| C000717 | 浅野 公之 | 京都大学防災研究所 | 令和 8 年熊本地震の震源過程と強震動 |
| C000719 | 盛川 仁 | 東京科学大学 | 熊本県氷川町・嘉島町における 2026 年熊本地震の余震観測結果(速報) |
| C000720 | 松元 康広 | 構造計画研究所 | 2026 年熊本地震（Mw 6.7）の長周期（2 秒以上）地震動評価のための特性化震源モデルの設定 |
| C000721 | 原田 愛里 | 工学院大学大学院　修士課程 | 2026 年熊本地震の地表地震断層の近傍における建物被害調査その 2　建物被害調査結果 |
| C000722 | 鈴木 崇伸 | 東洋大学 | 振幅特性図を用いた 2016 年と 2026 年の熊本地震の揺れ特性の比較 |
| C000724 | 山崎 康雄 | 西松建設 | 2026 年熊本地震の地表地震断層の近傍における建物被害調査その 1　建物被害調査および対象地域の概要 |
| C000725 | 倉橋 奨 | 愛知工業大学 | 2026 年熊本地震（Mw6.8）の被害集中域で得られた速度記録再現のための SMGA 震源モデル |
| C000727 | 奥村 与志弘 | 関西大学 | 令和 8 年熊本地震における災害関連死リスク―発災後 1 か月時点での評価― |
| C000728 | 大角 恒雄 | 国立研究開発法人防災科学技術研究所 | 令和 8 年熊本地震における断層近傍の構造物被害と伝統的建造物の損傷 |
| C000730 | 山下 典彦 | 大阪産業大学 | 令和 8 年熊本地震における直接基礎 T 型橋脚の地震応答に及ぼす上部構造物のロッキングの影響 |
| C000731 | 池田 真幸 | 東北大学 | 過去の災害経験と避難所解消に見る地域レジリエンス― 2016 年熊本地震を経た 2026 年熊本地震の事例 ― |
| C000723 | 司 宏俊 | 株式会社サイスモ・リサーチ | 2026 年 Mw 6.8 熊本地震で観測された地震動最大値に関する検討 |
| C000718 | 山本 優 | 大成建設(株) | 令和 8 年熊本地震 K-NET 八代の地震動に関する基礎的検討 |

## ポスターセッション(3)・コアタイム

### Poster session (3) core time

2026/11/28 12:50-13:40 ポスターセッション会場 / Poster Session Hall

掲示時間 10:00–17:00

Posting hours: 10:00–17:00

| 投稿受付番号<br>Submission No. | 発表者氏名<br>Presenter | 発表者所属<br>Affiliation | 発表題目<br>Title |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000042 | 小林 剣大 | 港湾空港技術研究所 | source-controlled fmax に関する破壊力学的解釈と運動学的解釈の対応関係 |
| C000198 | 佐藤 智美 | 清水建設 | 海溝軸直交方向の走向の断層を用いた 1994 年北海道東方沖地震の特性化震源モデル |
| C000220 | 種 翔太郎 | 中電技術コンサルタント | 動力学モデルを用いた横ずれ断層における速度層構造が地表地震断層破壊挙動に与える影響に関する検討 |
| C000282 | 宮腰 淳一 | 大崎総合研究所 | 確率論的地震動ハザード評価における震源断層を予め特定しにくい地震のモデルの更新 |
| C000525 | Romani Choudhary | Indian Institute of Technology Mandi | SYNTHETIC GROUND MOTION GENERATION USING HIERARCHICAL SLIP WEAKENING PATCH-BASED SOURCE MODEL FOR THE NORTHEASTERN INDIA |
| C000039 | 後藤 浩之 | 京都大学 | 物理法則に基づくニューラルネットワークを用いた地震波形の逆解析による地盤構造の推定 |
| C000097 | 山田 伸之 | 高知大学 | 高知県宿毛市桜町強震観測点(KOC015)周辺の地震動特性 |
| C000250 | 平井 敬 | 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 | 自動車を活用した地震観測のための車載型地震計の試験運用 |
| C000489 | 長嶋 史明 | 京都大学防災研究所 | S-net の埋設観測点の EHVR に見られる谷形状に着目した地下構造推定 |
| C000500 | 田中 主秀 | 鹿島建設株式会社 | 多孔質弾性体における波動論に基づく改良地盤の不均質性の定量評価に関する研究 |
| C000596 | 林田 拓己 | 建築研究所 | 中小地震記録に基づく福島県いわき市中心市街地における 2016 年・2021 年・2022 年福島県沖地震の地震動推定 |
| C000637 | 成田 修英 | 高知工科大学 | 地震記録における位相の不連続と経時特性の関係 |
| C000638 | 伊藤 恵理 | 建築研究所　国際地震工学センター | 微動の水平上下スペクトル比が明らかにした 3 次元共振現象による能登半島の 2 都市における水平動サイト増幅特性 |
| C000640 | 功刀 卓 | 防災科学技術研究所 | 日本と台湾の震度の定量的比較 |
| C000666 | 小木曽 仁 | 気象庁気象研究所 | N-net 観測点の地震動特性: 振幅と群遅延時間 |
| C000183 | 青木 雅嗣 | 大成建設 | 地表/地中スペクトル比の方位に依存する地震間変動の評価手法に関する検討 |
| C000251 | 村越 匠 | 防衛大学校 | 横須賀市野比東ノ入公園における常時微動 H/V スペクトル比を用いた北武断層近傍の地盤構造の特徴 |
| C000413 | Yadab Prasad Dhakal | National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience | Examination of horizontal-to-vertical spectral ratios of earthquake records at N-net stations |
| C000642 | 先名 重樹 | 防災科学技術研究所 | 福島県における強震動評価のための浅部・深部統合地盤構造モデルの構築 |
| C000065 | 植竹 富一 | 東京電力ホールディングス | 2025 年青森県東方沖地震で観測された海震記録の解析 |
| C000046 | 澤崎 郁 | 防災科学技術研究所 | 連続地震計記録の極値統計解析に基づく余震による揺れの早期予測 |
| C000133 | 安田 隼 | 京都大学 | 敵対的生成ネットワークによる地震波形の空間補間に関する検討 |
| C000306 | 森田 高市 | 国土交通省国土技術政策総合研究所 | 鉄骨造建物の強震記録と応答解析モデルに基づく機械学習による損傷検知 |
| C000362 | 大場 啓太郎 | 福岡大学大学院 | RNN-LSTM を用いた地下水位変動予測モデルの長期的適用性の再評価―熊本市近見地区を対象として― |

| | | | |
|---|---|---|---|
| C000107 | 内藤 昌平 | 防災科学技術研究所 | 令和 6 年能登半島地震における建物被害に関するデータベースの試作および災害要因の検討 |
| C000435 | 青井 淳 | 竹中工務店 | 多質点系地震応答解析結果に基づく深層学習による建物損傷度時系列の逐次推定に関する検討 |
| C000591 | 尻無濱 昭三 | 鉄建建設 | 2024 年能登半島地震で被災した輪島市内の建物の杭基礎被害について |
| C000053 | 岡田 大輝 | 京都大学 | 石川県内灘町の液状化地点における余震観測と令和 6 年能登半島地震本震の地震動推定 |
| C000440 | 細田 遼 | ソルーション | コントローラフュージョンによる遠心模型用スチュワートプラットフォーム振動台の変位安定化制御器と加速度制御器の分離独立化 |
| C000230 | 山﨑 彬 | 青木あすなろ建設 | 橋梁耐震補強の注入式接着系あと施工アンカー工法に用いるクリップ型ばねの適用効果 |
| C000549 | 有賀 義明 | 弘前大学 | 構造物の津波衝突時の被害を防ぐためのエアバッグの活用 |
| C000358 | 林 康裕 | 舞鶴工業高等専門学校 | 歴史的木造建築物の多様な被害モードを想定した耐震メニューの提案 |
| C000383 | 岡本 昌大 | 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 | モード特性に基づく石積み構造物 DEM パラメータの EKI による同定可能性に関する検討 |
| C000573 | 近藤 知慧 | 東京科学大学 | 竹直交集成板（CLB）の製作と RC 架構への適用に関する解析的評価 |
| C000030 | 中治 弘行 | 公立鳥取環境大学 | 既存木造耐力壁の耐震補強法に関する実大実験 |
| C000180 | 土田 尭章 | 青木あすなろ建設 | 外付け制震ブレース工法用「摩擦ダンパー」の設置 20 年後の経年特性 |
| C000582 | 三辻 和弥 | 山形大学 | 観測記録に基づく杭支持層が傾斜した地盤に建つ杭基礎 RC 造建物の水平・上下連成挙動 |
| C000382 | 髙山 真太郎 | 京都大学大学院 | 直埋設平板ベローズ継手の引張変形挙動に関する模型実験および再現解析 |
| C000646 | 増田 顕 | 東京科学大学（元名城大学） | CLT ロッキング壁柱を有する中高層木質建物のフレーム解析に基づく力学的挙動と必要断面の検討 |
| C000663 | 佐藤 雄亮 | 電力中央研究所 | 通信用鉄塔の設計用地震荷重算定手法に関する検討 |
| C000670 | 中村 潤 | 工学院大学 | 鋼板挿入ドリフトピン接合を用いた木質ラーメン構造の構造特性係数 Ds 算出方法の違いが必要保有水平耐力算定に与える影響に関する解析的研究 |
| C000672 | 小豆畑 達哉 | 建築研究所 | 地震応答変形のばらつきを考慮した限界耐力計算による建築構造物の耐震性評価 |
| C000694 | 大堀 道広 | 滋賀県立大学 | 2024 年能登半島地震による福井大学研究棟の地震応答と室内被害 |
| C000060 | 崔 烘福 | 日本大学生産工学部 | 溶融亜鉛めっき鉄筋を用いた鉄筋コンクリート造構造部材・架構の構造性能 |

## 特別講演会

Special Lectures (held in Japanese only)

**開催概要**

**Overview**

日時：2026 年 11 月 27 日（金）14:00～18:40
Date and time: Friday, November 27, 2026, 14:00-18:40

場所：熊本城ホール　メインホール
Venue: Main Hall, Kumamoto-Jo Hall

参加費：無料
Fee: Free

**第 1 部　特別講演・基調講演**

**Part 1: Special Lecture and Keynote Lecture**

**特別講演**

**Special Lecture**

「令和 8 年熊本地震における八代市の被害状況と課題について」
小野 泰輔（八代市長）
"Damage and Challenges in Yatsushiro City from the 2026 Kumamoto Earthquake"
Taisuke Ono (Mayor of Yatsushiro City)

**基調講演**

**Keynote Lecture**

「熊本地震への対応 ～不可能を可能に～」
蒲島 郁夫（東京大学先端科学技術研究センター フェロー，元・熊本県知事）
"Responding to the Kumamoto Earthquake: Making the Impossible Possible"
Ikuo Kabashima (Fellow, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo; former Governor of Kumamoto Prefecture)

## 第 2 部　12 学会合同企画　令和 8 年熊本地震 報告

## Part 2: Joint Program of 12 Academic Societies: Reports on the 2026 Kumamoto Earthquake

1) 地震：松本 聡（九州大学大学院理学研究院 附属地震火山観測研究センター 教授）
1) Earthquake: Satoshi Matsumoto (Professor, Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University)

2) 活断層：吉見 雅行（産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 主任研究員）
2) Active faults: Masayuki Yoshimi (Senior Researcher, Research Institute of Earthquake and Volcano Geology, AIST)

3) 建築：壁谷澤 寿一（東京都立大学 准教授）
3) Buildings: Toshikazu Kabeyasawa (Associate Professor, Tokyo Metropolitan University)

4) 機械・プラント：古屋 治（東京電機大学 教授）
4) Machinery and plants: Osamu Furuya (Professor, Tokyo Denki University)

5) 土木構造物：松村 政秀（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授）
5) Civil engineering structures: Masahide Matsumura (Professor, Center for Water Cycle, Marine Environment and Disaster Management, Kumamoto University)

6) ライフライン（通信）：佐田 公志（NTT ドコモ 九州支社ネットワーク部災害対策室長）
6) Lifelines (telecommunications): Koji Sada (Head of Disaster Countermeasures Office, Network Department, Kyushu Branch, NTT DOCOMO)

7) 行政対応：阿部 成二（国土交通省九州地方整備局 統括防災官）
7) Government response: Seiji Abe (Chief Disaster Management Officer, Kyushu Regional Development Bureau, MLIT)

8) 災害情報：矢守 克也（京都大学防災研究所 教授）
8) Disaster information: Katsuya Yamori (Professor, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)

9) 被災者支援：阪本 真由美（兵庫県立大学 教授）
9) Support for disaster victims: Mayumi Sakamoto (Professor, University of Hyogo)

全体総括：松田 泰治（九州減災コンソーシアム座長，九州大学名誉教授・熊本大学名誉教授）
Overall summary: Taiji Mazda (Chair, Kyushu Disaster Mitigation Consortium; Professor Emeritus, Kyushu University and Kumamoto University)